資料編

○　屋内スポーツの現状

○　旭川市　新たな屋内スポーツ施設の整備に向けた市民アンケート調査

○　旭川市におけるスポーツに関するアンケート調査（団体アンケート）

○　東光スポーツ公園複合体育施設の整備内容についての意見交換会　実施結果

○　東光スポーツ公園基本計画見直しの経過

○　見直しの検討経過

屋内スポーツの状況

１　屋内スポーツ施設の整備状況

旭川市及び近郊の町には，市内に９箇所，近隣町に９箇所，合計１８箇所の屋内体育施設がある。（北海道で公表している，道内のスポーツ施設等の統計情報「道民のスポーツＨ２４」より。）

	施設名	施設概要		
		アリーナ面積	観覧席数	その他
旭川市	旭川市総合体育館	1,812㎡	1,494席	第1体育館（115㎡），第2体育館（441㎡），第3体育館（181㎡），第4体育館（288㎡）
旭川市	大成市民センター体育館	1,051㎡		
旭川市	旭川大雪アリーナ	3,034㎡	9,133席	冬季スケートリンク
旭川市	勤労者体育センター	805㎡		
旭川市	旭川市東地区体育センター	504㎡		
旭川市	忠和公園体育館	1,354㎡		
旭川市	近文市民ふれあいセンター	504㎡		
旭川市	障害者福祉センター	662㎡		
旭川市	旭川市総合防災センター	600㎡		
鷹栖町	鷹栖町総合体育館	1,600㎡	200席	
鷹栖町	鷹栖町Ｂ＆Ｇ海洋センター	726㎡		
東神楽町	東神楽町総合体育館	980㎡		小アリーナ568㎡，柔道場（1面）
当麻町	スポーツセンター	1,400㎡	500席	剣道場250㎡柔道場230㎡卓球場335㎡
比布町	比布町体育館	1,118㎡		
愛別町	B&G海洋センター	1,222㎡		格技場（498㎡）
上川町	上川町総合体育館	1,412㎡		
東川町	Ｂ＆Ｇ海洋センター	853㎡		
美瑛町	美瑛町スポーツセンター	1,484㎡		武道場(421.20㎡)

・総合体育館には主競技場の他，４つの体育館があり，広さの違いにより利用が異なっている。第１体育館は主に会議室として利用され，第２体育館は，卓球やバウンドテニスのほか体操競技の主な練習場所となっている。第３体育館は，畳敷きとなっており，柔道や合気道，少林寺などの他，ヨガにも利用されている。第４体育館は，剣道，空手といった武道，格闘技に利用されている。

・旭川大雪アリーナについては，「冬期間のスポーツ推進及び市民の健康づくりと各種イベントの開催を目的とした施設」であり，１１月中旬（１０月中旬から準備）から３月末まではアイスリンクとして利用されている。夏期間についても，スポーツ以外の「催事」（「花フェスタ旭川」「各種学会」「技術大会」など）が開催されている。

・忠和公園体育館は，旭川市の健康都市宣言にあわせて計画された健康運動公園である忠和公園の中核施設であり，個人が気軽に継続的にスポーツ・レクリエーションを行うことで健康管理を行う施設として整備されている。そのため，競技スポーツではなく，個人利用を主体とした運営を行っている。

旭川市内の体育施設では，次の表のとおり競技を行うことができる。アリーナ面積が同じであっても，アリーナの縦横の長さの違いや施設で準備している備品等により，利用できる競技種目や面数が異なる。最も多くの種目が実施でき面数が確保できるのは，総合体育館である。

施設名	アリーナ面積	競技種目
旭川市総合体育館	1,812㎡	バレーボール3面，バスケットボール2面，バドミントン12面，卓球24面，テニス3面，ハンドボール1面，体操競技
大成市民センター体育館	1,051㎡	バレーボール2面，バスケットボール1面，バドミントン6面，卓球18面，テニス1面
旭川大雪アリーナ	3,034㎡	バレーボール3面，バスケットボール2面，バドミントン9面，卓球20面，テニス3面，ハンドボール1面
勤労者体育センター	805㎡	バレーボール1面，バスケットボール1面，バドミントン6面，卓球10面，テニス1面
旭川市東地区体育センター	504㎡	バレーボール1面，バスケットボール1面，バドミントン2面
忠和公園体育館	1,354㎡	バレーボール2面，バスケットボール2面，バドミントン10面，卓球23面，テニス2面
近文市ふれあいセンター	504㎡	バドミントン3面，ミニバレー3面
障害者福祉センター	662㎡	車椅子バスケットボール，視覚障害バレーボール等
旭川市総合防災センター	600㎡	バレーボール1面，バスケットボール1面，バドミントン3面，卓球3面

・近隣で最もアリーナ面積の広い鷹栖町総合体育館では，「バレーボール２面，バスケットボール１面，テニス２面，バドミントン８面」となっている。

２　市内屋内スポーツ施設の利用状況

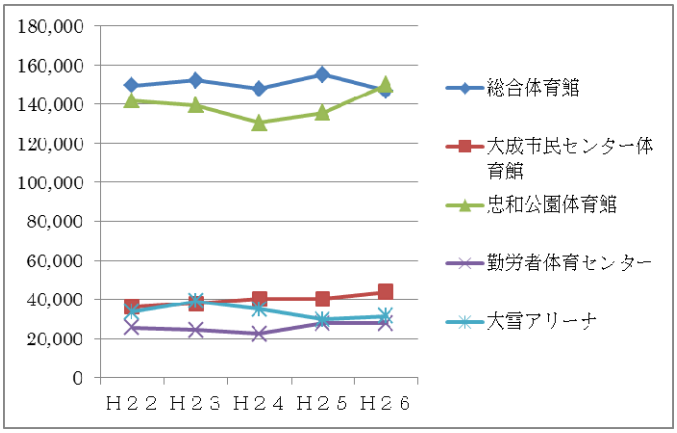
アリーナ面積が大きく大会等での利用がある市内施設について，過去５年間の利用状況は次のとおりである。

利用者人数（人）

	H22	H23	H24	H25	H26
総合体育館	149,572	152,284	148,005	155,197	147,060
大成市民センター体育館	36,268	37,967	40,170	40,398	43,908
忠和公園体育館	141,951	139,595	130,697	135,736	150,253
勤労者体育センター	25,554	24,234	22,446	27,794	27,842
大雪アリーナ	33,408	39,199	34,996	29,650	31,254

※大雪アリーナについては，夏期間の人数とし，専用利用については，「アマスポーツ」のみを計上している。

◇利用者人数の推移



・過去５年間で利用人数の多い施設は，「旭川市総合体育館」と「忠和公園体育館」である。

・「旭川市総合体育館」は，大会での利用や団体の専用利用が多いが，「忠和公園体育館」は，一般利用が多い。

・「大成市民センター」「勤労者体育センター」「大雪アリーナ」ともに，専用利用の利用者が多い。

○その他の施設
・「東地区体育センター」は，体育関係の利用者が平成２６年度では 29,425 人となっており，過去３年でも同様の人数となっている。人数の集計が専用利用のみ「体育関係」「会議関係」などに分かれており，個人使用の区分が分からないが，個人使用の人数は 3,000 人程度となっており，この施設についても専用利用が多い。

・「障害者福祉センター」は，体育館の利用が平成２６年度で 17,731 人となっており，そのうち障害者利用が 12,639 人，一般利用が 5,092 人となっている。車いすバスケットボールが行われているが，この施設ができたことによりチームが結成された。

・「近文ふれあいセンター多目的ホール」は，平成２６年度で 18,006 人の利用がある。専用使用がされていない場合は，バドミントンと卓球による自由使用となっている。

市内施設の利用者を合計すると，約４７万人（延べ人数）が体育施設を利用している。

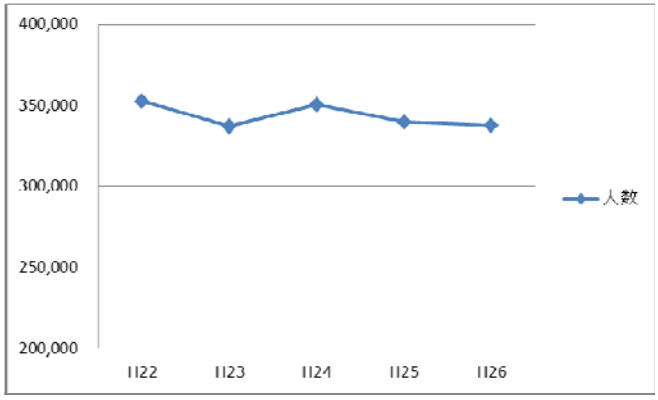
○専用利用
　各施設では，大会等での利用の他に一定の人数（１０名以上等）の団体に対して，施設の独占的な利用を認めている。それぞれの団体の定例的な練習場所として各施設は利用されており，各施設とも専用利用が多くの割合を占めている。個人での利用は，専用利用のない時に，施設で用意したスポーツ種目で利用することとなる。
　忠和体育館は，一般利用を主体とした施設であるため，団体での専用利用は認めておらず，大会の開催は月に２回を目安としている。通常はフロアを４つに分けて，それぞれ利用種目を割り当て自由使用としている。

３　その他施設の利用状況

　学校や公民館，地区センター等のスポーツ以外の目的で整備された施設においても，スポーツが実施されている。

１）学校施設のスポーツ利用（学校開放事業）
　学校開放事業は，全国的に行われている事業であり，一般利用の各スポーツ施設を補完する形で小中学校の体育館，グラウンド等が平日の夜間及び土曜日の午後・夜間に一般市民に開放されている。旭川市では，昭和４２年より学校開放事業を開始し，平成２６年度は８１校の開放が行われた。施設の利用は，市民１０人以上の団体で学校ごとに登録する必要がある。

◇学校開放事業の利用者人数の推移



　過去５年間の年間利用人数は，３４万人前後となっている。
　屋内のスポーツ種目で人数の多い種目は，バドミントン，バレーボール，バスケットボール，剣道，ミニバレー，フットサルとなっており，いずれものべ３万人を超えており，過去５年を見ても，順位の変動はあるがこれらの種目が多い。

２）スポーツ・レクリエーションに利用可能な屋内施設

公民館や地区センター等には，住民のコミュニティ活動に役立てるため様々な施設が整備されており，スポーツ，レクリエーションにも利用されている。

■スポーツやリクリエーションに利用できる施設

施　設　名	利用可能な施設
公民館（14 館，貸館を行っている分館 7 館　）	体育館（260～450 ㎡）が計 4, ホール（100～500m^2 程度）が計 4, 講堂（150～320m^2 程度）が計 9, 集会場（200m^2 程度）が計 1
住民センター（4 箇所）	体育館（400 ㎡程度）が各 1 箇所計 4, 集会室（200m^2 程度）が計 4
地区センター（8 箇所）	ホール・集会場（200m^2 以上）が計 8
農村地域センター等（5 箇所）	ホール（200～550m^2）が計 4

公民館，住民センター等は，会議や集会等にも利用されており，全てがスポーツに利用されているとは限らないが，次のような利用状況となっている。（平成 19 年度実績より）

・公民館の利用可能な施設（分館も含む）の年間利用者数は 5 万人前後となっている。

・公民館のホールや講堂では，卓球やミニバレーの他，ダンスや健康・美容体操などの軽スポーツ，レクリエーションにも利用されている。利用の多い永山公民館では年間 23,000 人，東鷹栖公民館では年間 15,000 人の利用がある。

・公民館の分館は，閉校となった小学校を再利用しているものが多く，学校の体育館と同様のスポーツを実施することができる。しかし，郊外にあるものは利用件数の少ないところもある。（年間で数百人程度）

・住民センター（体育館）は年間約 1,900 件，地区センターは約 5,700 件，農村センター等は約 2,100 件の専用利用がある。スポーツでの利用は，ミニバレーやバドミントンが多い。

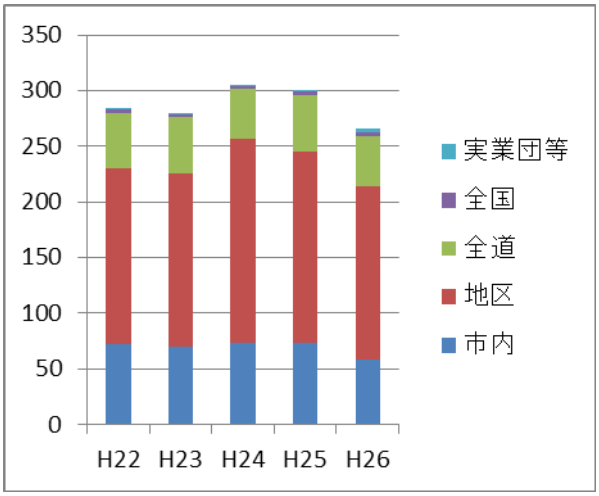
４　大会での利用状況

（公財）旭川市体育協会では，加盟団体の大会開催の予定をホームページに掲示している。平成２７年度は，のべ５５１件，そのうち屋内の大会は２８７件が予定されており，その区分別では，「全国（実業団等含む）」が４件，「全道」が４４件，「地区」が２１０件，「市内・市民」が２９件となっている。また，「全国」のうち１件は，女子バスケットボールの実業団リーグである。

過去５年間では，次のとおりとなり毎年３００件程度の大会が開催されているが，体育協会に加盟していない団体の大会もあるため，相当数の大会が開催されていると考えられる。

また，「実業団等」では，過去に「ＪＢＬ日本バスケットボールリーグ戦」も旭川市総合体育館で開催されている。

	H22	H23	H24	H25	H26
実業団等	1	1	1	1	3
全国	3	3	2	3	4
全道	50	50	45	51	45
地区	158	156	183	171	155
市内	72	70	74	74	59
合計	284	280	305	300	266

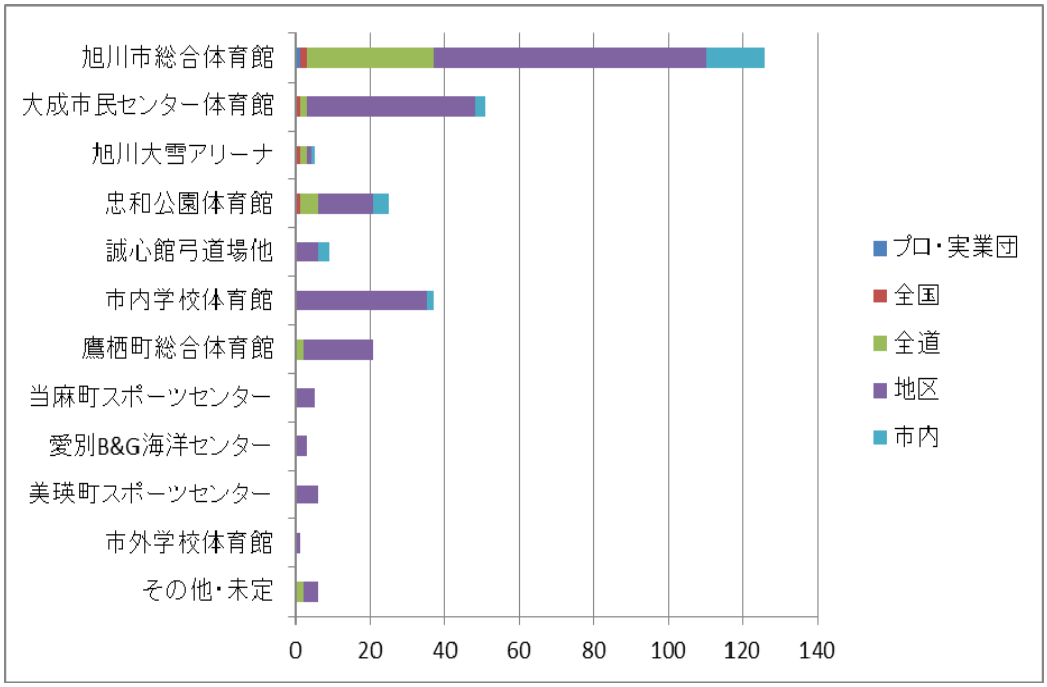


また，平成２７年度予定の大会について施設別に整理すると，次の表のとおりとなる。

１件で複数会場を使用する場合があるため，合計は異なる。

	実業団	全国	全道	地区	市内	合計
旭川市総合体育館	1	2	34	73	16	126
大成市民センター体育館		1	2	45	3	51
旭川大雪アリーナ		1	2	1	1	5
忠和公園体育館		1	5	15	4	25
誠心館弓道場他				6	3	9
市内学校体育館				35	2	37
市内小計	1	5	43	175	29	253
鷹栖町総合体育館			2	19		21
当麻町スポーツセンター				5		5
愛別B&G海洋センター				3		3
美瑛町スポーツセンター				6		6
市外学校体育館				1		1
市外小計			2	34		36
その他・未定			2	4		6
合計	1	5	47	213	29	295

◇スポーツ施設ごとの大会開催数



・利用施設別で見ると，「旭川市総合体育館」での開催が最も多く予定されており，続いて「大成市民センター」「市内学校体育館」となる。

・「大成市民センター」や「市内学校体育館」は「地区」大会が多く開催されている。地区大会には，全国大会，全道大会の地区予選が含まれ，中高生の大会も多く含まれているため，各学校での開催も多いと考えられる。

・「全国」「全道」大会は，「旭川市総合体育館」で最も多く開催されている。大会規模が大きくなると，必要とされる競技面も多くなり，さらに選手のウオーミングアップ用のサブ体育館や役員等の控え室も必要となるため，複数の体育室を持つ総合体育館での開催が多いと考えられる。

・「全道」「地区」とも周辺の町での開催があるが，アリーナ面積の大きな「鷹栖町総合体育館」での開催が多い。また，「全道」大会の中には競技面が多数必要であり，複数の会場での開催が必要なため，「鷹栖町総合体育館」も含めて実施している場合がある。

大会での利用については，旭川市体育協会加盟団体及び体育施設利用団体にアンケート調査を行っており，過去３年間に大会を開催した施設を記載していただいた。上記の施設の他に，市内では「勤労者体育センター」「公民館，住民センター等」，市外では「比布町体育館」「東神楽町総合体育館」「東川Ｂ＆Ｇ海洋センター」「民間施設」も挙げられている。

○施設の利用調整

（公財）旭川市体育協会では，指定管理を行っている「旭川市総合体育館」及び「大成市民体育センター」の利用調整を行っている。大会開催の需要が大きく，「忠和公園体育館」も対象として実施している。忠和公園体育館については，市民の健康増進を目的に整備された施設であるが，大会等の需要に対応するため，月に２件程度の利用を認めているところである。利用調整では，「全国」「全道」「地区」の順に優先順位をつけており，希望日が重なった場合には，利用者同士の協議により予定日を決定している。

利用調整にあたっては，平成２７年度については２３件，また過去５年をみても毎年２０数件の大会が希望する日時がとれず，場所や日時を変更している。

◇平成 27 年度に利用調整から漏れた大会

【 全道大会 】

No.	大　　会　　名
1	第44回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップソフトテニス2015北北海道大会
2	第8回旭川圏ダンススポーツ競技大会・第23回都道府県対抗代表選考競技会
3	第51回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会バスケットボール競技
4	北海道フットサルリーグ2015
5	北海道フットサルリーグ2015

【 地区大会 】

No.	大　　会　　名
1	第46回全国ママさんバレーボール大会北海道予選会旭川予選会
2	第41回北北海道社会人バドミントン選手権大会
3	第34回旭川市長杯ママさんバレーボール大会
4	第17回旭川バレーボール協会長杯（一般9人制）
5	平成27年度ミカサ杯争奪バレーボール大会（一般9人制）
6	第34回旭川バレーボール協会長杯争奪大会（ママさんの部）
7	第20回会長杯高校バドミントン選手権大会
8	第13回あさひかわ新聞杯争奪バレーボール大会（一般6人制）
9	H27剣道第一種審査受審者講習会
10	第41回フタバスポーツ杯争奪バレーボール大会（一般9人制）
11	第6回旭川フットサルオータムカップ
12	第14回ミカサ杯ママさんバレーボール大会
13	第12回ミカサ杯争奪バレーボール大会（一般6人制）
14	平成27年度高校新人バドミントン大会兼選抜予選(団体)
15	全道フットサル選手権大会2016　U-12の部
16	第69回旭川市民体育大会ソフトバレーボールの部
17	第7回ナナカマドライオンズクラブ杯少年剣道大会
18	第11回モア・スポーツ杯バドミントン大会

・全国大会等の開催では，必要競技面が確保できず，初めから開催を断念している団体もあるとのことである。

５　旭川市総合体育館の利用状況

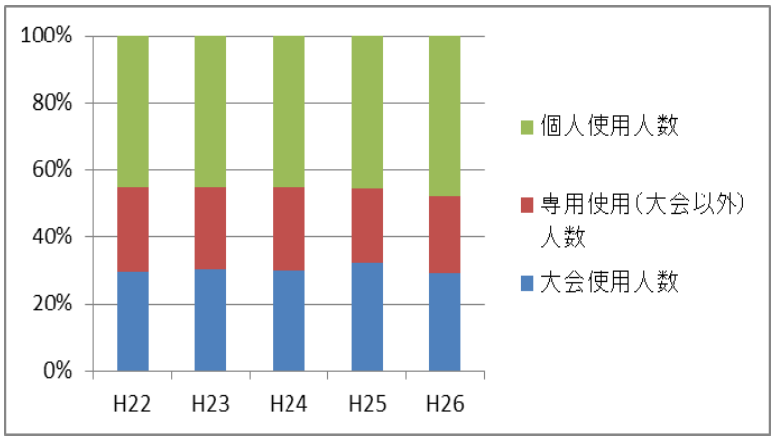
旭川市総合体育館の過去５年間の利用状況は，次のとおりとなる。

○利用人数

利用人数の内訳を見ると，「大会」及び「専用」の利用者が５割以上となっている。

◇過去５年間の利用者人数の推移

	H22	H23	H24	H25	H26
大会使用人数	43,632	46400	43877	50153	42307
専用使用（大会以外）人数	38,437	37161	37217	34232	33966
個人使用人数	67,503	68723	66911	70812	70787
総利用者人数	149,572	152284	148005	155197	147060

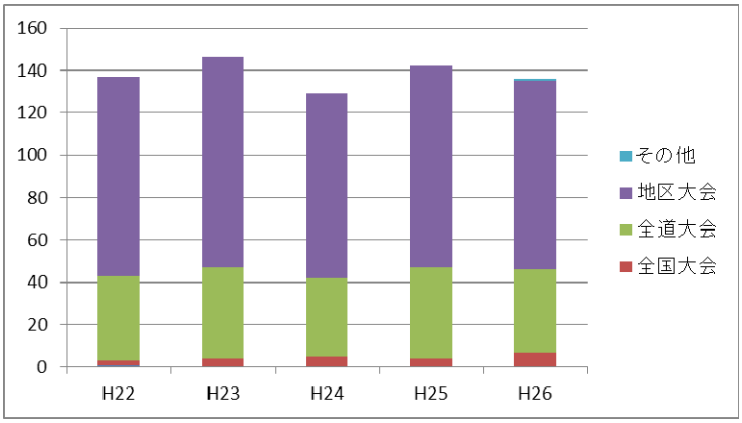


○大会開催件数

大会開催については，概ね１３０件以上の大会が開催されており，「全国」規模の大会も毎年行われている。

◇過去５年間の各種大会開催の推移

	H22	H23	H24	H25	H26
全国大会	2	4	5	4	7
全道大会	40	43	37	43	39
地区大会	94	99	87	95	89
その他	0	0	0	0	1
合計	136	146	129	142	136

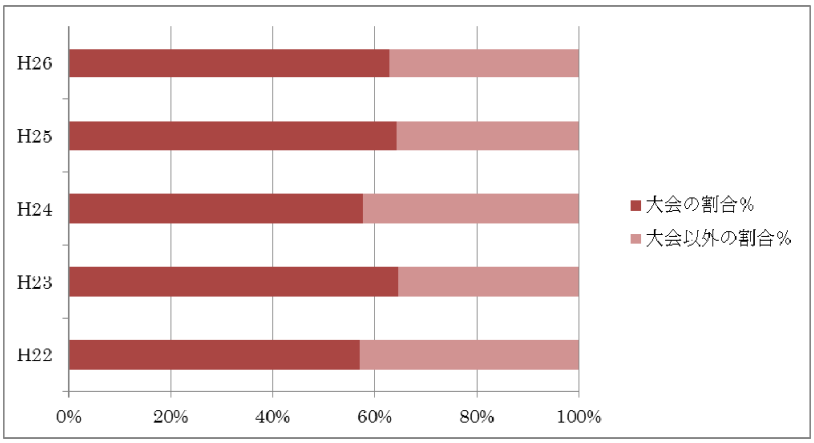


○開館日当たりの大会開催の割合

開館日当たりの大会開催の割合は，６割前後となっている。他の施設では，大会開催件数及び大会規模から推測すると大成体育センターで３割程度，忠和公園体育館では１割程度と考えられるため，大会での専用が多い施設である。

◇過去５年間の大会開催日の割合

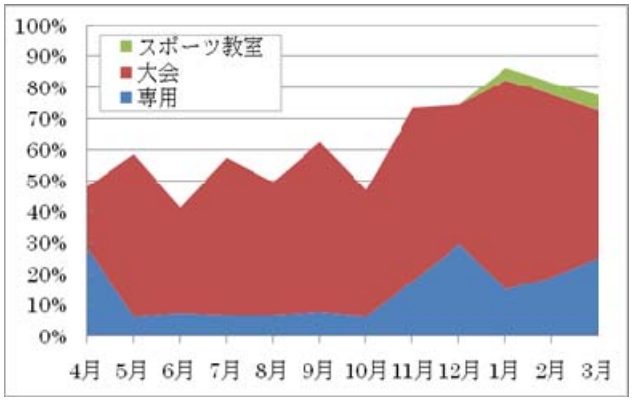
	H22	H23	H24	H25	H26
会館日数	347	348	347	347	347
大会開催日数	198	225	200	223	218
大会開催日数／会館日数%	57%	65%	58%	64%	63%



○メインアリーナの専用利用状況

メインアリーナについてコマごとの専用状況を見ると，平成２０年度の状況であるが，夏期については５割程度，冬季に入ると８割近くになっている。冬は，屋外スポーツ（テニス等）が屋内に移動するため，さらに混み合う状況にある。

◇メインアリーナの利用状況（平成２０年度）



※総合体育科のメインアリーナは，午前，午後，夜間の区分ごとに，３分の１の面積から使用できるようになっている。開館日１日当たり９コマとして，それぞれの使用コマ数から割合を算出している。

６　利用団体からの意見等

本年９月から１０月にかけて，旭川市体育協会加盟団体及び体育施設利用団体にアンケート調査を実施した。その中で，現況施設への感想をお聞きしたところ次のような意見があった。

〇施設の不足
・多数の団体で利用しているため使用日数が限られる。（総合体育館）
・大会開催に際しては，他団体との調整で決定されるため施設の不足を感じている。（総合体育館）
・他の競技と重なり，希望日の確保が困難（総合体育館，大成市民センター）

〇競技スペースの不足
・正規の競技面が 1 面しか取れず全道大会のような規模の大会開催が難しい。（総合体育館）
・コートが２面しかとれず，総合体育館と大雪アリーナを併せても，全国規模の大会開催は厳しい。（総合体育館，大雪アリーナ）
・大会のたびに畳の移動が必要。常設のスペースでは大会開催は困難。（総合体育館）

〇必要な施設，備品の不備
・控え室スペース，観客席が無く大会開催は困難（大成市民センター）
・移動式のひな壇が不足（総合体育館）
・観客席が無い（忠和体育館）
・大半の器具が旧式のため全道大会での使用が不可。大会時は札幌から運搬が必要。現行ルールの器具で練習したい。（総合体育館）
・競技用具が老朽化しており，調達持ち込みが必要な場合がある（総合体育館）
・音響設備を充実させて欲しい（勤労者体育センター）

〇その他
・冬季に利用できない（大雪アリーナ）
・利用料金が高い（大雪アリーナ）
・駐車場の不足（勤労者体育センター）
・冬季にテニス，フットサルなどが利用するため専用利用ができない（総合体育館）

７　屋内スポーツの状況の整理

〇旭川市内には，スポーツ施設の他，公民館，住民センター等を含めるとスポーツを実施する場所が多くある。
　しかしながら，大きな面積を持つ施設が少なく，また，施設の備品の関係上，スポーツの種類によっては実施できる施設が限られている。

〇旭川市内では，多くの市民がスポーツを実施している。（のべ人数による）
　施設の利用から見ると，市内には多くのスポーツ実施団体があり，ほとんどの施設は団体による専用利用がされている。

〇旭川市は，北海道第２の都市であり，道北地域の中核都市であるため，大会の開催が多い。屋内スポーツは，種目が多くあり，また，大会が開催できる規模の施設が限られているため，大会実施の需要に応えられていない。

〇旭川市で最も広い面積と多くの体育室を持つ旭川市総合体育館では，年間の会館日数のうち６割が大会でしめられており，団体の専用利用も多いため，一般の利用がしづらい状況にある。

旭川市　新たな屋内スポーツ施設の整備に向けた市民アンケート調査

１ アンケートの概要

東光スポーツ公園複合体育施設の整備に向けた検討にあたり，市民のスポーツ実施状況や複合体育施設に望む設備を把握し，複合体育施設の基本計画見直しに反映させるため，アンケート調査を実施した。

（１）調査方法

①調査対象　　旭川市民のうち１８歳以上の男女　３，０００人
②抽出方法　　住民基本台帳からの層化２段無作為抽出
③調査期間　　平成２７年９月１１日から１０月１４日まで
④調査方法　　調査票の郵送によるアンケート方式

（２）回収結果

①発送数　　３，０００人
②総回収数　　１，１６６人
③記入不備数　　２人
④有効回収数　　１，１６４人
⑤回収率　　３８．８％（有効回収数÷発送数）

◇地区別回収数

地区	地区名	発送件数	有効回収件数	回収率
1	中央・新旭川	359	124	34.5%
2	豊岡	222	79	35.6%
3	東光	445	186	41.8%
4	北星	276	121	43.8%
5	末広・春光	412	171	41.5%
6	春光台・鷹栖	104	40	38.5%
7	神居	282	91	32.3%
8	江丹別	3	1	33.3%
9	永山	380	151	39.7%
10	東旭川	125	45	36.0%
11	神楽	143	56	39.2%
12	緑が丘	175	70	40.0%
13	西神楽	29	10	34.5%
14	東鷹栖	45	19	42.2%
合　計		3,000	1,164	38.8%

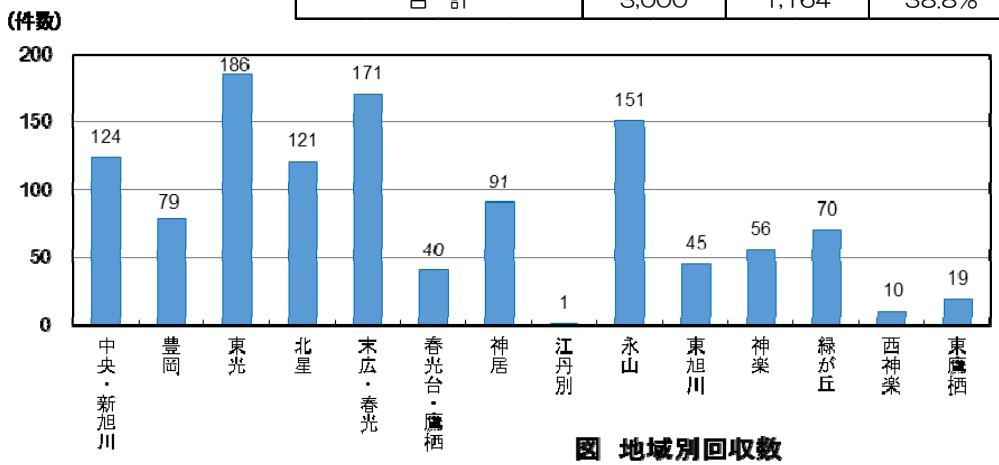


図　地域別回収数

2 アンケートの質問項目と結果

（1）回答者属性

全体でみると男性が約 36.5%（425 人），女性が約 52.6%（612 人）となっており，女性の割合が高くなっている。（無回答，不明が 127 人）

年代別では，地区のうち「江丹別」「西神楽」「東鷹栖」は回答数が少ないため，差が大きく出ているが，10 代・20 代の回答が少なく，年代が高くなるにつれて回答数も多くなる傾向にある。

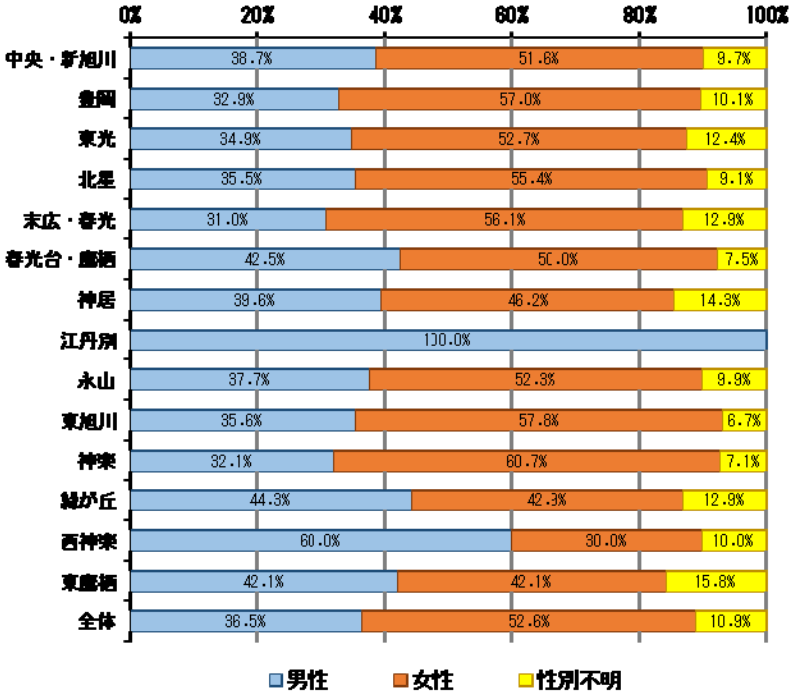


図 地区男女別 回答率

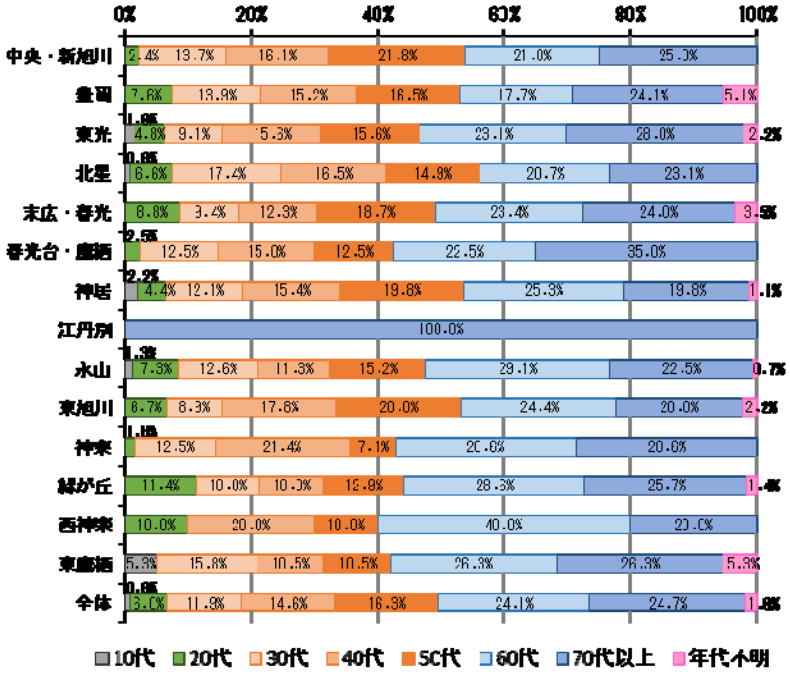


図 地区年代別 回答率

（2）質問と回答

質問１：屋内スポーツ実施の有無

過去１年間に屋内スポーツ（運動）を行いましたか？

「スポーツを行った」が全体の約 24.9%となっている。

30 代を除くすべての年代で「男性」より「女性」のスポーツ実施率が高くなっている。また，「男性」は年代が高くなるにつれて割合が少なくなるが，「女性」は 20 代から 60 代までほぼ一定の割合を保っている。

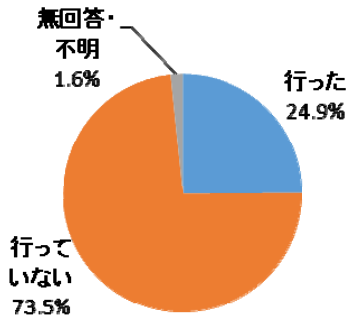


図　屋内スポーツ実施状況（全体）

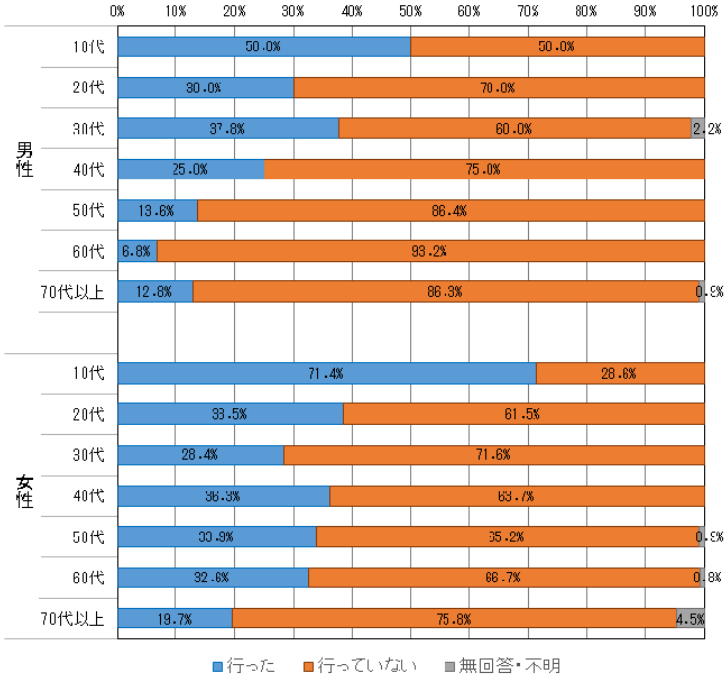


図　スポーツ実施状況（男女別・年齢別）

※平成 21 年度にも同様のアンケート調査を実施している。平成 21 年度は，「屋内」「屋外」の区別をせず全てのスポーツを対象に実施しており，「スポーツを行った」は約 37.9%であり，10 代以外では，全ての年代で「男性」の方が高くなっていた。

質問２：実施状況・施設

過去１年間に行った屋内スポーツ（運動）（主なもの３つまで）について，「①具体的なスポーツ名」，を記入し「②主な利用施設」，「③施設利用上の不満」の該当する回答を選ぶ。

①スポーツの種目

全体でみると「筋トレ」が最も多く，次いで「ミニバレー」，「バドミントン」となっている。

年代別では，40 代から 60 代で 1 位が「筋トレ」となっており，50 代以上では，5 位以内に「ウォーキング」が入っている。

◇行った屋内スポーツ（10 件以上のもの）

（件数）

順位	スポーツ種目	男	女	性別不明	合計
1位	筋トレ	17	31	3	51
2位	ミニバレー	12	25	2	39
3位	バドミントン	12	21	1	34
4位	ヨガ	0	24	4	28
5位	卓球	8	16	3	27
6位	ウォーキング	5	17	2	24
7位	フィットネス	3	16	2	21
8位	体操	1	14	5	20
9位	バレー	4	12	2	18
10位	ジョギング	9	7	1	17
11位	ダンス	1	9	2	12
12位	テニス	0	9	1	10
13位	フットサル	3	5	2	10

※平成 21 年度アンケートでは，最も実施が多い種目は「パークゴルフ」となっていた。屋内スポーツでは，全体の第 5 位に「バドミントン」が上がっている。

②主な利用施設

「民間施設」が最も多くなっており，次に「忠和公園体育館」が多くなっている。

回答の「その他」で記載があった施設としては，「東神楽町体育館」「比布町体育館」などの近隣の体育館や札幌市の体育館が挙げられていた。

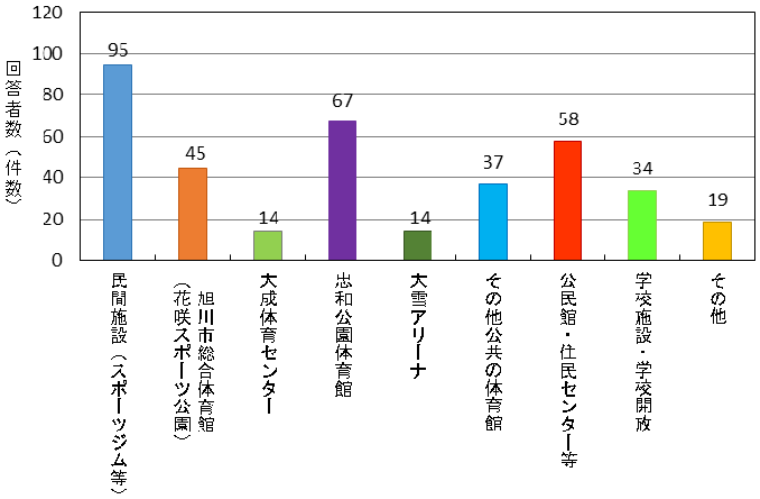


図　利用施設

○スポーツ種目別の利用施設

「筋トレ」「ヨガ」「フィットネス」「ジョギング」は，「民間施設」での実施が多い。

「バドミントン」や「卓球」「バレー」などの球技は「忠和公園体育館」の利用が多い。

「ミニバレー」「バレー」については，学校の利用が多い。

◇スポーツ種目別の利用施設

（件数）

順位	スポーツ種目	民間施設（スポーツジ	旭川市総合体育館	大成体育センター	忠和公園体育館	大雪アリーナ	その他公共体育館	公民館・住民センター	学校施設・学校開放	その他	合計
1	筋トレ	25	8	0	14	0	1	2	0	1	51
2	ミニバレー	2	7	2	6	2	2	6	11	1	39
3	バドミントン	0	3	2	12	0	6	4	4	3	34
4	ヨガ	14	1	0	1	0	0	9	1	2	28
5	卓球	1	5	5	9	0	1	6	0	0	27
6	ウォーキング	4	0	0	7	2	10	0	0	1	24
7	フィットネス	16	0	0	1	0	0	1	0	3	21
8	体操	2	0	3	0	0	2	12	0	1	20
9	バレー	0	5	0	5	0	2	1	5	0	18
10	ジョギング	7	0	0	6	4	0	0	0	0	17

③施設の不満

全体でみると「不満はない」が最も多くなっており，次に「予約が取りにくい・混み合う」となっている。

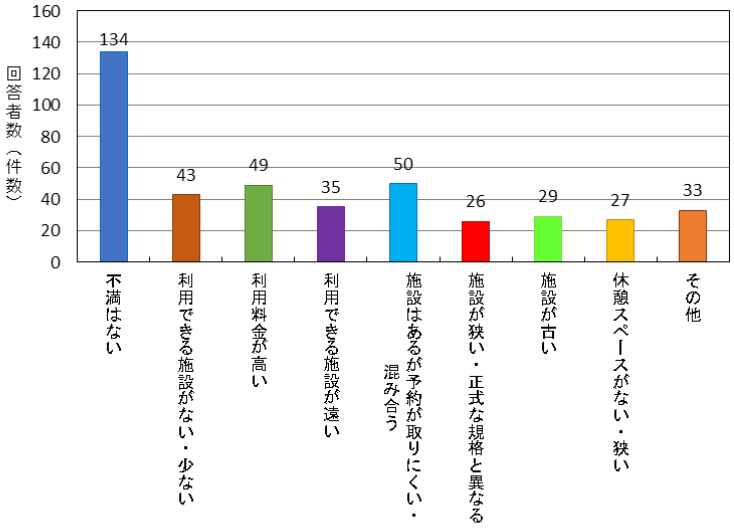


図　利用施設に関する不満

○利用施設別の不満

利用施設別でみると，「不満がない」以外で高くなっているものは，「民間施設」では「利用料金が高い」，「総合体育館」「忠和公園体育館」では「予約が取りづらい」が多い。

◇利用施設別の不満

施設名	不満はない	利用できる施設がない・少ない	利用料金が高い	利用できる施設が遠い	施設はあるが予約が取りにくい・混み合う	施設が狭い・正式な規格と異なる	施設が古い	休憩スペースがない・狭い	その他
民間施設	38	10	31	7	8	2	4	4	10
旭川市総合体育館	7	8	3	4	8	2	7	5	5
大成体育センター	2	1	2	1	3	3	2	2	2
忠和公園体育館	29	6	4	10	13	3	0	4	5
大雪アリーナ	9	2	1	1	0	1	1	1	1
その他公共体育館	13	5	1	6	4	2	3	1	1
公民館・住民センター等	15	3	4	4	9	7	8	6	4
学校施設・学校開放	16	6	0	0	3	5	2	3	2
その他	5	2	3	2	0	0	0	0	2
合計	134	43	49	35	48	25	27	26	32

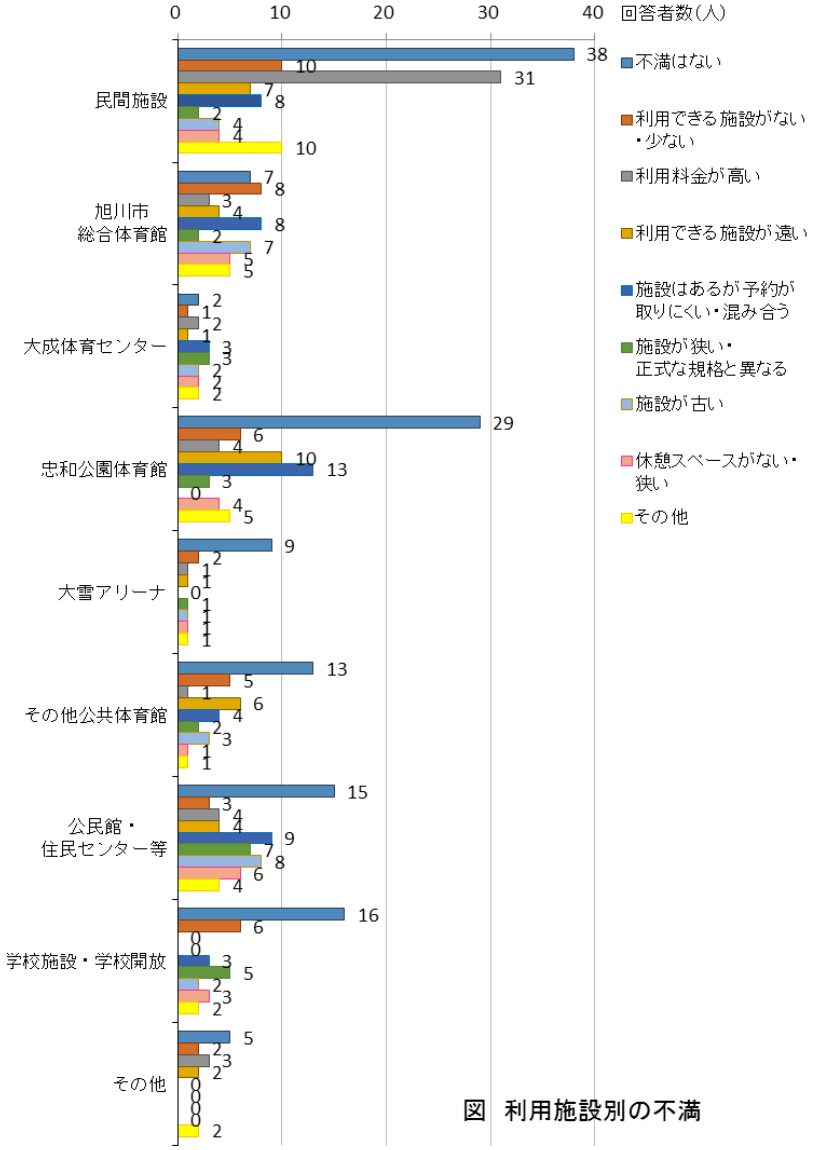


図　利用施設別の不満

質問４　市内での屋内スポーツ観戦の有無

過去 1 年間に市内で屋内スポーツの大会（試合）を見に行きましたか？（テレビ・ラジオでの観戦，小学校等の運動会は除きます。）

全体でみると「見に行った」が約 10.4%，「見に行っていない」が約 86.4%となっている。

性別・年代別でみると，男女ともに「40 代」で「見に行った」と回答している割合が高くなっている。

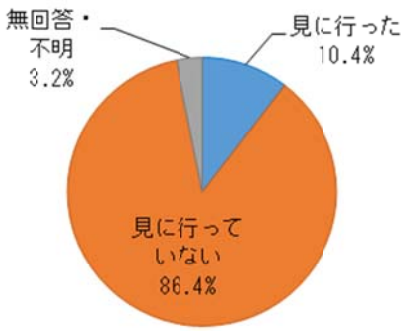


図　スポーツ観戦状況

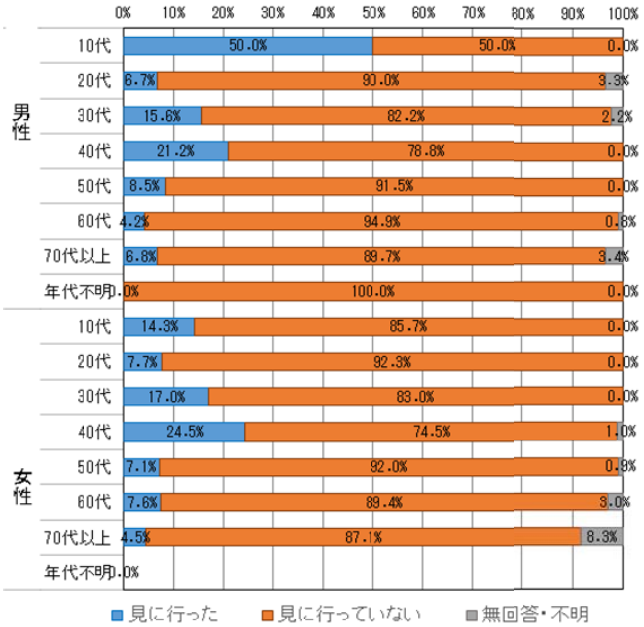


図　スポーツ観戦状況（男女別・年齢別）

※平成 21 年度アンケートでは，「スポーツを見に行った」は約 21.4%であり，年代では 40 代の観戦が多かった。

質問５：観戦したスポーツ内容

市内で見に行った屋内スポーツの大会等（主なもの３つまで）について，見に行った「①具体的なスポーツ名」を記入し，「②大会等の種類」，「③見に行った施設」，「④スポーツを見る上での施設への不満」の該当する回答を選ぶ。

①スポーツ種目

最も多いのは，「バレー」となっており，「バスケット」「フットサル」となっている。

◇観戦したスポーツ（10 位まで）

順位	スポーツ種目	件数
1位	バレー	37
2位	バスケット	31
3位	フットサル	14
4位	卓球	10
5位	バドミントン	9
6位	テニス	7
7位	ソフトテニス	6
7位	剣道	6
9位	空手	5
10位	アイスホッケー	3
10位	柔道	3

②大会等の種類

全体でみると「小・中学生の大会」が最も多くなっている。

また，年代別にみると，子育て世代である 30・40 代，孫を持つ世代である 60 代以上で「小・中学生の大会」が多くなっている。

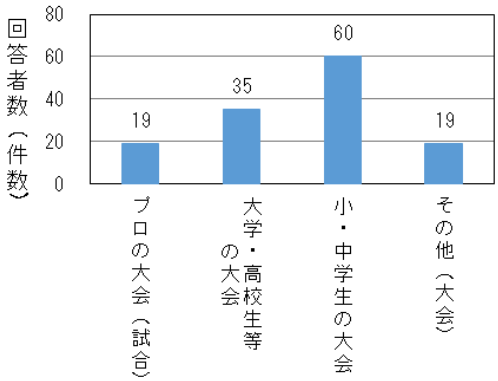


図　スポーツ観戦（大会）種類

◇年代別観戦した大会等の種類

（件数）

年代	プロの大会（試合）	大学・高校生等の大会	小・中学生の大会	その他（大会）	合計
10代	0	1	1	0	2
20代	2	3	1	0	6
30代	3	1	13	5	22
40代	9	15	22	2	48
50代	2	7	5	6	20
60代	1	4	11	2	18
70代以上	1	4	4	4	13
年代不明	1	0	3	0	4
合計	19	35	60	19	133

③見に行った施設

見に行った施設で最も多いのは「総合体育館」となっている。スポーツ種目別に見ても「総合体育館」となっている。

◇大会等の種類別の見に行った施設

（件数）

大会等の種類	民間施設（スポーツジム）	旭川市総合体育館	大成体育センター	忠和公園体育館	大雪アリーナ	その他公共体育館	公民館・住民センター等	学校施設・学校開放	その他	合計
プロの大会（試合）	0	9	0	0	9	0	0	1	0	19
大学・高校生等の大会	0	20	1	2	8	0	0	3	0	34
小・中学生の大会	1	36	0	4	8	3	0	7	1	60
その他（大会）	0	9	3	1	3	1	0	2	0	19
合計	1	74	4	7	28	4	0	13	1	132

◇スポーツ種目別の見に行った施設

（件数）

スポーツ種目		民間施設（スポーツジム）	旭川市総合体育館	大成体育センター	忠和公園体育館	大雪アリーナ	その他公共体育館	公民館・住民センター等	学校施設・学校開放	その他	合計
1位	バレー	0	26	1	4	4	1	0	1	0	37
2位	バスケット	0	14	0	0	8	1	0	8	0	31
3位	フットサル	1	4	1	0	5	0	0	3	0	14
4位	卓球	0	5	1	3	0	0	0	1	0	10
5位	バドミントン	0	5	0	0	1	1	0	1	1	9
6位	テニス	0	7	0	0	0	0	0	0	0	7
7位	ソフトテニス	0	5	0	0	0	0	0	1	0	6
7位	剣道	0	4	0	0	1	0	0	1	0	6
9位	空手	0	1	1	1	0	1	0	1	0	5
10位	アイスホッケー	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
10位	柔道	0	2	0	0	0	0	0	1	0	3

④施設への不満

全体でみると「不満はない」が最も多くなっている。

施設別に見ると「大雪アリーナ」以外は，「見る場所が少ない」が最も多くなっている。

また，「その他」では，「総合体育館」について「出入口が少ない」「駐車場が無い」「靴の履き替えで出入口が詰まる」との意見があった。

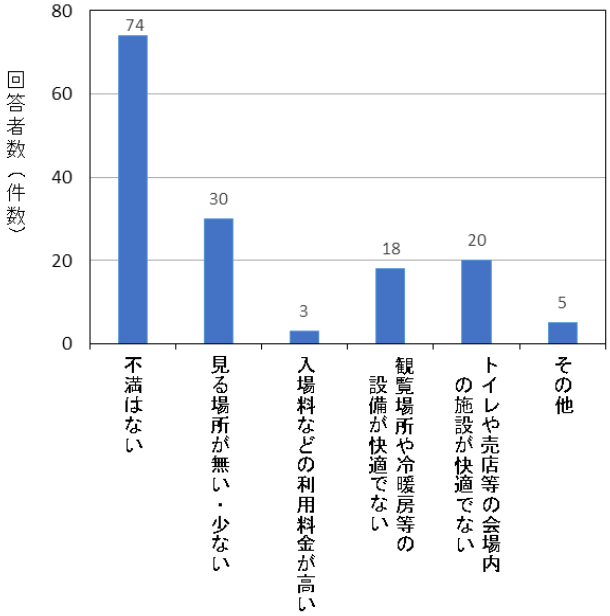


図　利用施設への不満

◇施設別の利用施設への不満

（件数）

利用施設	不満はない	見る場所が無い・少ない	入場料などの利用料金が高い	観覧場所や冷暖房等の設備が快適でない	トイレや売店等の会場内の施設が快適でない	その他	合計
民間施設（スポーツジム）	0	0	0	1	1	0	2
旭川市総合体育館	38	16	2	13	8	3	80
大成体育センター	0	3	0	1	1	0	5
忠和公園体育館	2	6	0	1	1	0	10
大雪アリーナ	23	0	1	0	3	0	27
その他公共体育館	4	0	0	0	0	0	4
公民館・住民センター等	0	0	0	0	0	0	0
学校施設・学校開放	4	4	0	2	4	1	15
その他	0	1	0	0	0	0	1
合計	71	30	3	18	18	4	144

質問６：新しい屋内スポーツ施設の目指す姿

新しい屋内スポーツ施設は，どのような施設になったら良いと思いますか？特に重要だと思うものを二つ選んでください。

全体でみると「気軽に立ち寄れて日常的にスポーツに取り組める施設」が最も多くなっており，続いて「スポーツ以外でも体力づくりに利用できる施設」「スポーツ以外にも休憩などに気軽に立ち寄れる施設」となっている。

また，質問１で「スポーツを行った」と回答した人と「スポーツ行わなかった」と回答した人では，最も多い回答は「気軽に立ち寄れて日常的にスポーツに取り組める施設」で同じであるが，「スポーツ以外にも休憩などに気軽に立ち寄れる施設」は「行った人」では最も少なく，「行っていない人」では２番目に多くなっている。

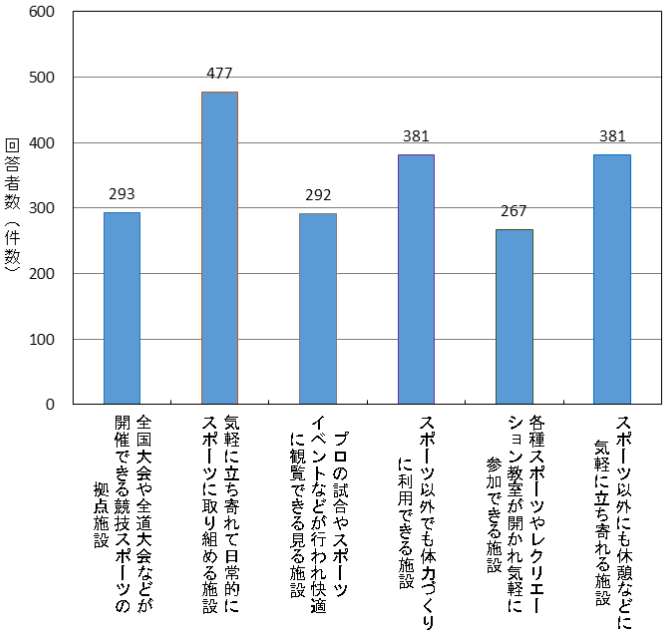


図　新しいスポーツ施設の目指す姿

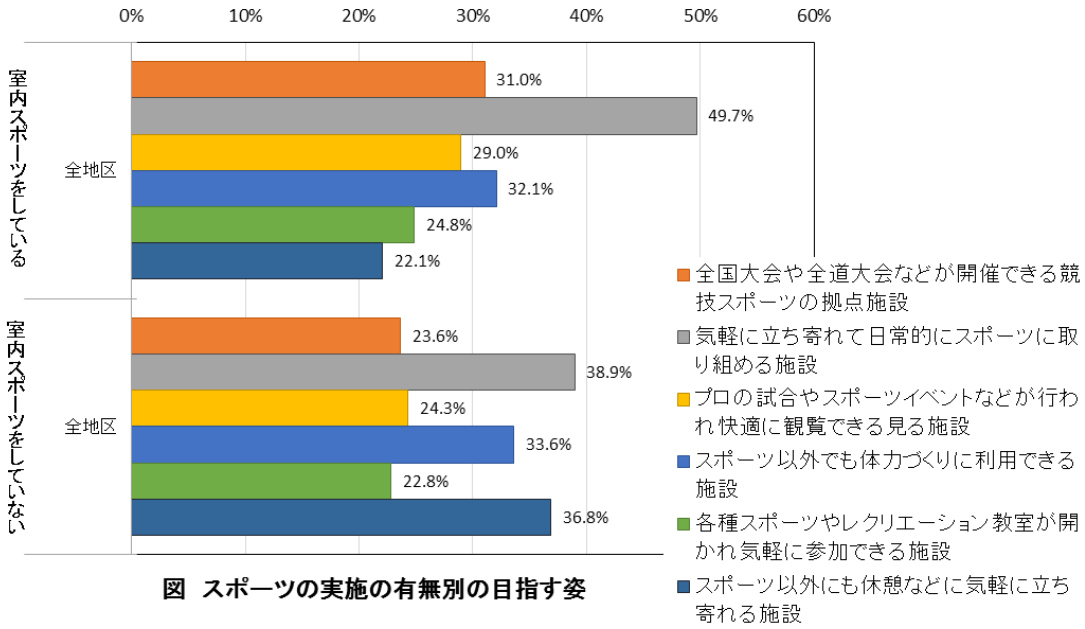


図　スポーツの実施の有無別の目指す姿

質問７：必要な施設

新しいスポーツ施設にあったらよいと思うものをすべて選んでください。

「体育館」「武道館」を除くと「ロッカー」「トレーニング室」「休憩スペース」が多くなっている。また，スポーツを「行っている人」と「行っていない人」も同様の傾向となっており，「体育館」「武道館」についても，「体育館」が多く「武道館」が少ない。

「その他」の内訳としては，「プール」「ウォーキング」が多い。

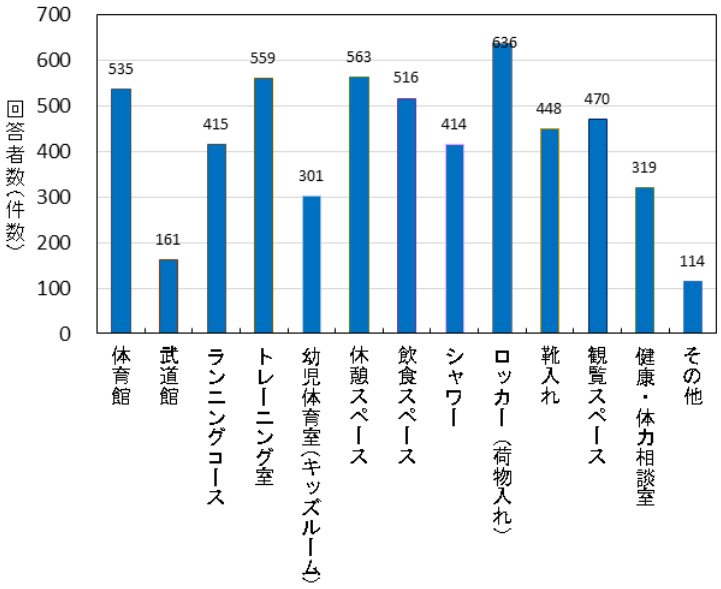


図　新しい体育館に必要な施設

◇その他で複数意見があったもの

その他内訳	件数
プール	27
ウォーキングコース	10
授乳室	6
浴場施設	5
ヨガスペース	4
売店	4
駐車場	4
ダンススタジオ	4
コンサートが出来る施設	2
幼児遊具のある施設	2
ボルタリング施設	2

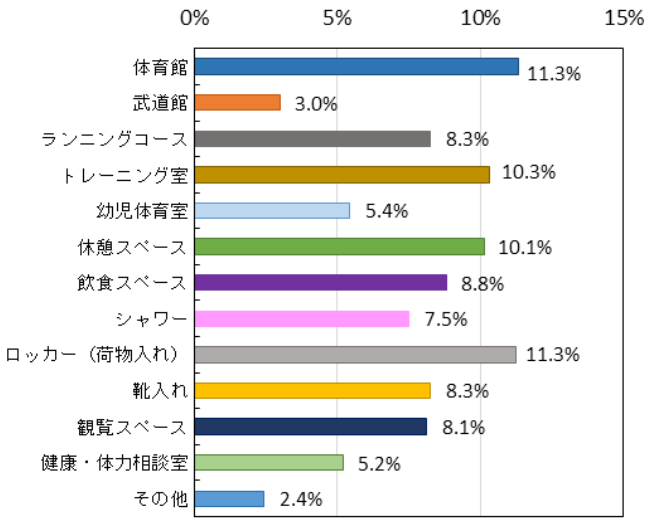


図　新しい体育館に必要な施設
【スポーツをしている人】

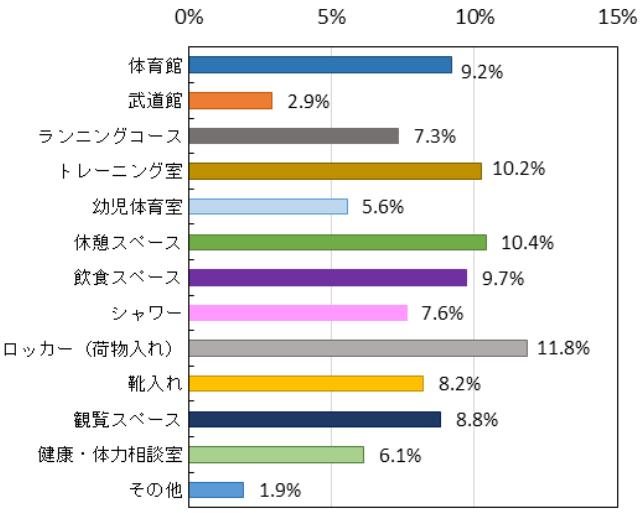


図　新しい体育館に必要な施設
【スポーツをしていない人】

質問８：新しい施設の利用

東光スポーツ公園に新しい屋内体育施設が完成したら，利用したいと思いますか？

全体としては，「利用したい」が 45.9%，「利用しない」が 51.9%となっている。年代別では，男女とも「利用したい」が 20 代が最も多く，年代が高くなると共に少なくなっている。

地域別でみると，東光スポーツ公園周辺の「近郊地区（東光）（豊岡）」では，「利用したい」が 67.2%と過半数以上であるが，「その他の地区」では 41.5%と半数以下となる。

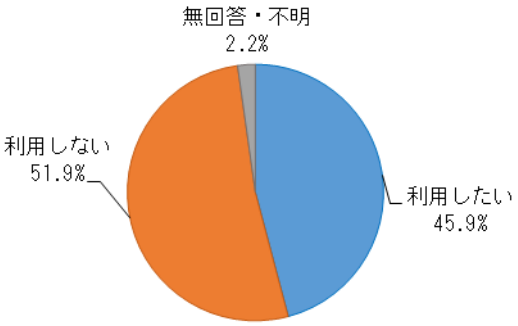


図　新しい施設の利用状況
【全体】

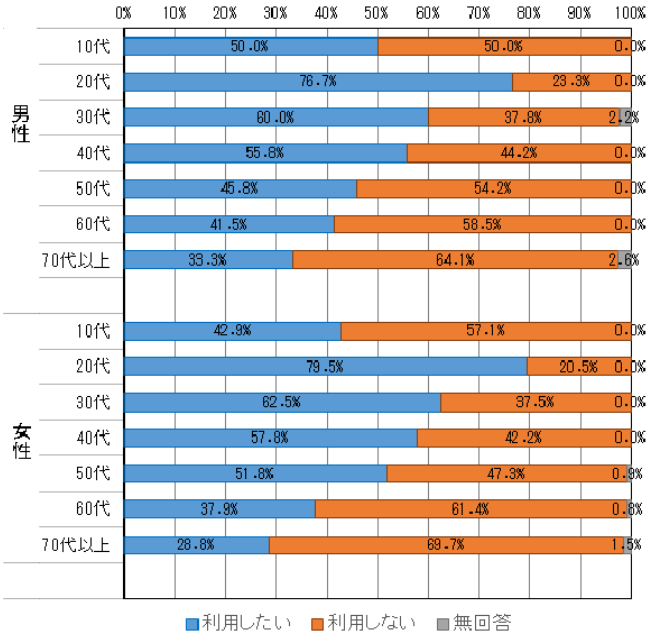


図　スポーツ実施状況（男女別・年齢別）

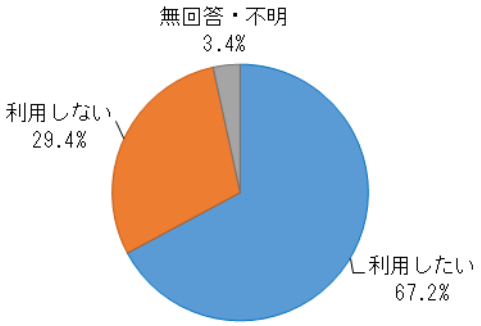


図　新しい施設の利用状況
【近郊地区】

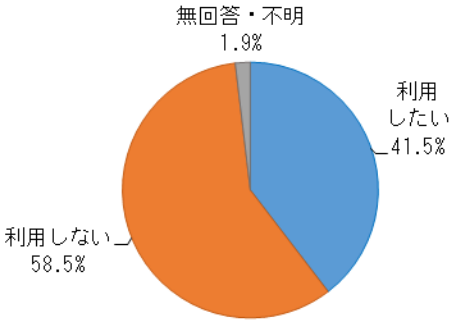


図　新しい施設の利用状況
【その他地区】

質問９：利用方法

利用したいことについて，該当する回答を全て選んでください。

全体で見ると「トレーニングマシンの利用」が最も多く，次に「ランニング・ウォーキング」となっている。また，「スポーツの観戦」も多く選ばれている。

年代別では，30 代以下の年代では，「スポーツ・運動」が最も多いが，年代が上がると「トレーニングマシンの利用」「ランニング・ウォーキング」が多くなる。

「その他」については，「子どもと一緒に利用したい（遊び，運動教室）」が 18 件となっている。

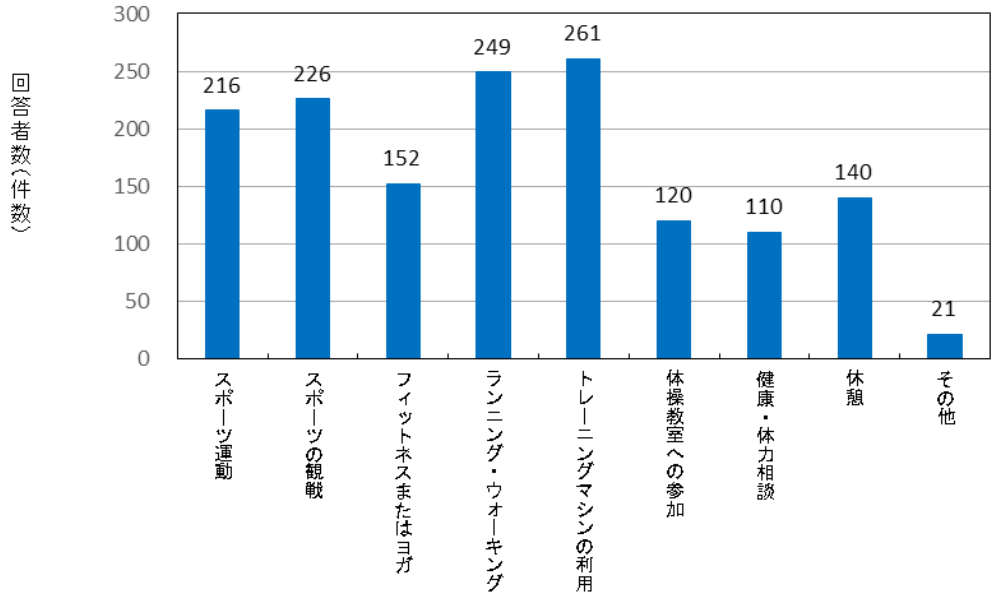


図　新しい体育館の利用目的

◇年代別の利用方法

（件数）

年代	スポーツ・運動	スポーツの観戦	フィットネスまたはヨガ	ランニング，ウォーキング	トレーニングマシンの利用	体操教室への参加	健康・体力相談	休憩	その他
10代	3	2	0	2	2	0	1	2	0
20代	39	19	13	26	28	6	6	14	2
30代	50	34	27	34	36	17	8	22	9
40代	44	50	36	45	55	16	17	19	1
50代	28	50	39	38	53	23	15	20	3
60代	29	41	24	60	52	25	27	32	3
70代以上	22	28	12	41	34	33	36	30	3
年代不明	1	2	1	3	1	0	0	1	0
合計	216	226	152	249	261	120	110	140	21

○「スポーツ・運動」の具体的な種目

最も多いのが「バドミントン」，続いて「卓球」「バレー」となっている。この種目については，年代別に見ても上位に入っているが，30 代，40 代ではフットサル，50 代ではミニバレーがあげられている。

◇「スポーツ・運動」の具体的な種目

順位	スポーツ・運動種目	件数	順位	スポーツ・運動種目	件数	順位	スポーツ・運動種目	件数
1位	バドミントン	47	11位	ゴルフ練習	2	15位	スケートボード	1
2位	卓球	30	11位	体操	2	15位	弓道	1
3位	バレー	21	11位	ジョギング	2	15位	テニポン	1
4位	テニス	18	15位	ボルダリング	2	15位	中国武術	1
5位	バスケット	17	15位	剣道	1	15位	銃剣道	1
6位	ミニバレー	14	15位	柔道	1			
7位	フットサル	12	15位	ダンス	1			
8位	水泳	7	15位	スカッシュ	1			
9位	ソフトテニス	3	15位	筋トレ	1			
9位	ウォーキング	3	15位	ヨガ	1			

質問１０：移動手段

東光スポーツ公園までの移動について，主な手段を選んでください。

全体で見ると，「自家用車」が最も多く 75%となっている。「近郊地区（東光，豊岡地区）」では，「自家用車」が最も多いが，「その他地区」と比較すると「自転車」「徒歩」の割合が高くなっている。

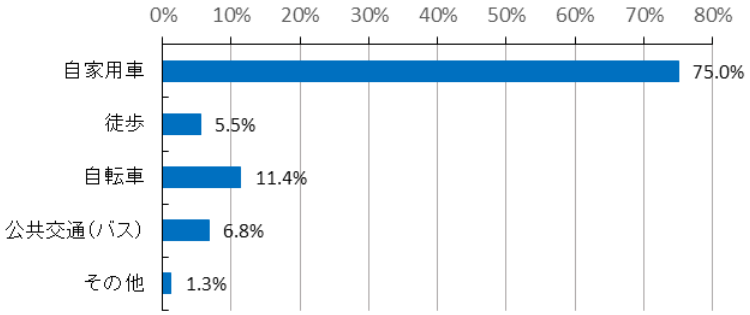


図　東光スポーツ公園までの移動手段

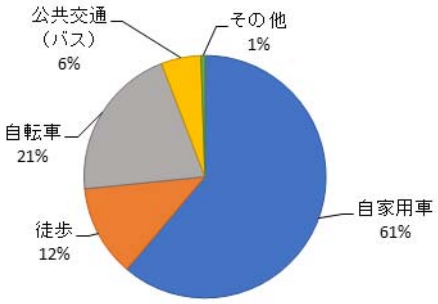


図　【近郊地区】の移動手段

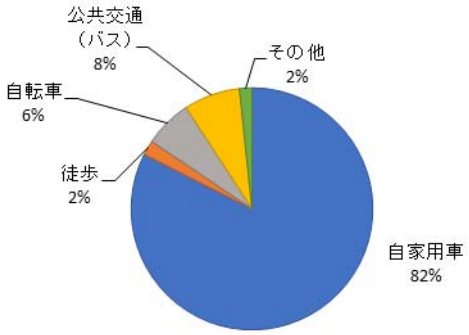


図　【その他地区】の移動手段

質問１１：利用しない理由

利用しない理由について，当てはまるものを全て選んでください。

全体としては，「東光スポーツ公園は遠い」が最も多く，「近郊地区」「その他地区」とも最も多くなっているが，「その他地区」の方が，選んだ割合が多くなっている。

「その他」では，「高齢のため」が最も多くなっており，「交通の不便」もあげられている。

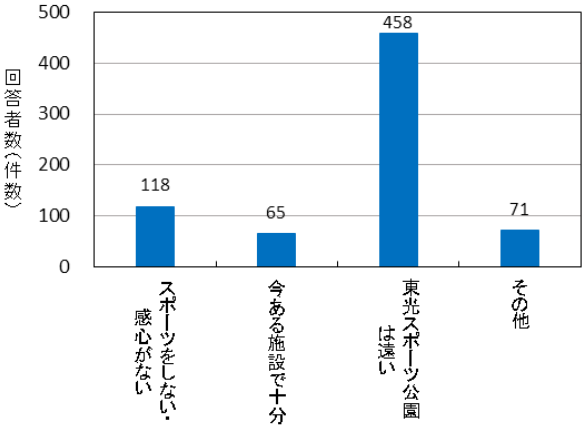


図　新しい体育館を利用しない理由

◇「その他」の内訳

順位	利用しない　その他理由	件数
1	高齢の為	18
2	交通が不便	9
3	障害者の為	5
4	時間がない	5
5	病気の為	4
5	屋外で運動をする為	4
5	身体的理由	2
8	条件が合えば行く	2
8	他の施設に通っている為	2
8	興味あるのものがなさそう	1
11	団体に占領されるので	1
12	きっかけがない	1

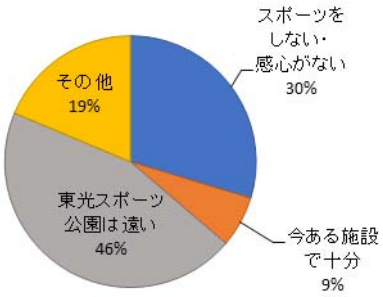


図　【近郊地区】の利用しない理由

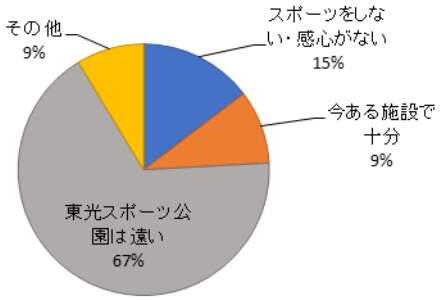


図　【その他地区】の利用しない理由

質問１２：自由意見

東光スポーツ公園や新しい屋内スポーツ施設に帯する御意見を自由にお書きください。

自由意見については，708 件寄せられている。

・「誰でも使いやすい施設」では，「小さい子どもが安全に遊べるような施設」や「高齢者が気軽に使える施設」などがあげられている。

・「利用料金・利用時間」は，「料金を安くして欲しい」「仕事の後に立ち寄れる時間まで使えるように」などである。

・「駐車場」については，「駐車場が足りない」という意見がほとんどであり，「場所・交通手段」では，「東光スポーツ公園は遠い」「公共交通手段を利用しやすく」「送迎バスがあれば」といった意見がある。

・「施設・設備・各種教室」では，利用する際に希望する施設や教室があげられており，「ランニングやウォーキングができる施設」「プール」「ボルダリング施設」や「ヨガ教室」などさまざまな要望があげられている。

・「団体利用と一般利用」では，「一部の人が占用しないで多くの人が利用できる工夫がいる」といった意見がとなっており，「財政・税金」では，「必要無い」「福祉などの施設を作るべき」との意見が多い。

自由意見の概要	件数
誰でも使いやすい施設	98
利用料金・利用時間	47
駐車場	32
場所・交通手段	91
施設・設備・各種教室	208
団体利用と一般利用	34
財政・税金	60
その他	133
合　計	703

旭川市におけるスポーツに関する調査（団体アンケート）

１ アンケートの概要

（１）調査の目的

東光スポーツ公園複合体育施設の整備に向けた検討にあたり，体育施設を利用しているスポーツ団体のスポーツ実施状況や複合体育施設に望む設備を把握し，複合体育施設の見直しに反映させる。

（２）調査対象

（公財）旭川市体育協会が実施している，総合体育館等利用調整に参加している団体。

（３）調査方法及び期間

利用調整案内の送付先へのアンケート用紙の送付，郵送による回答

回答回収期間　平成２７年９月～１１月

（４）送付団体　６４団体

内訳　・（公財）旭川市体育協会加盟団体　２３団体

・その他団体　４１団体

（５）回答団体　５２団体

内訳　・（公財）旭川市体育協会加盟団体　２０団体

・その他団体　３２団体

○体育協会加盟団体

※屋外競技団体も含まれているが，大会の開会式や冬期の記録会等の体育館利用がある。

	団体名	回答	登録団体数	人数
1	旭川アーチェリー協会	○	1	38
2	旭川レスリング協会	○	1	200
3	旭川地区空手道連盟		-	-
4	旭川弓道会	○	1	186
5	旭川剣道連盟	○	55	983
6	旭川地区サッカー協会	○	171	5,000
7	旭川柔道連盟	○	21	450
8	北海道旭川銃剣道連盟	○	12	492
9	旭川体操協会	○	9	248
10	旭川卓球協会	○	96	1,591
11	旭川テニス協会	○	66	1,043
12	旭川軟式野球連盟	○	143	2,860
13	旭川ソフトテニス連盟	○	82	1,700
14	旭川地区バスケットボール協会	○	128	2,336
15	旭川地区バドミントン協会	○	102	1,722
16	旭川地区ハンドボール協会	○	5	120
17	旭川バレーボール協会	○	135	-
18	旭川市ラジオ体操連盟	○	380	-
19	道北陸上競技協会	○	6	200
20	旭川綱引連盟		-	-
21	旭川バウンドテニス協会	○	6	51
22	旭川ダンススポーツ協会		-	-
23	旭川ミニバレー協会	○	5	80
	合　　計	20	1,425	19,300

○その他団体

※競技等の種類により集計。

※「団体事務局」については，各種学校間の体育大会や学校行事，体育イベントなどで利用がある。

	団体の種類	送付数	回答数	登録団体数	人数
1	団体事務局	12	8	36	13,373
2	空手	4	3	41	1,500
3	ソフトバレーボール	1	1	12	96
4	バレーボール	1	1	42	470
5	柔道	1	1	0	97
6	チアリーディン	1	1	23	526
7	綱引き	1	0	0	0
8	パワーリフティング	1	1	20	500
9	テニス	4	4	36	655
10	ラージボール卓球	1	1	0	270
11	剣道	1	1	1	48
12	ミニバレーボール	1	1	20	150
13	合気道	1	1	2	38
14	少林寺拳法	1	1	0	200
15	新体操	1	0	0	0
16	卓球	2	2	17	210
17	ドッチボール	1	0	0	0
18	フォークダンス	3	3	29	570
19	現代舞踊	1	0	0	0
20	健康ダンス	1	1	1	600
21	ラグビーフットボール	1	1	13	313
	合　計	41	32	293	19,616

※なお，団体アンケートについては，登録団体の多い団体もあるため，いくつかの登録団体から聞き取りをいただくか，事務局で回答出来る範囲での回答を依頼している。

2 結果概要

（1）現況施設の利用状況

①日常の主な練習場所

練習場所については，旭川市総合体育館の他，小中学校や高校，大学等の体育館が多く見られる。学校開放事業での体育館の利用や学校部活動での団体登録があるためと考えられる。

アーチェリーやテニスの練習場所としてあげられた「旭川市総合体育館」「大成体育センター」「小中学校体育館」「民間体育館」はいずれも冬期の練習場所となっている。

○体育協会加盟団体

団体名	練習場所
旭川アーチェリー協会	花咲スポーツ公園　洋弓場
	旭川市総合体育館　第４体育室
旭川レスリング協会	旭川市総合体育館
旭川弓道会	花咲スポーツ公園誠心館
旭川剣道連盟	勤労者体育センター
	忠和公園体育館
旭川地区サッカー協会（フットサル）	小中学校体育館
	大学体育館
	勤労者体育センター
	大雪アリーナ
北海道旭川銃剣道連盟	旭川市総合体育館
	民間施設体育館
	自衛隊施設
旭川体操協会	旭川市総合体育館
	小学校体育館
	公民館・地区センター等
旭川卓球協会	旭川市総合体育館
	大成体育センター
	忠和公園体育館
	小中学校体育館
	他町村体育館
旭川テニス協会	花咲スポーツ公園テニスコート
	忠和テニスコート
	旭川市総合体育館
	小中学校体育館
	大成体育センター
旭川ソフトテニス連盟	花咲スポーツ公園テニスコート
旭川地区バスケットボール協会	各種学校体育館
旭川地区バドミントン協	旭川市総合体育館
	大成体育センター
	勤労者体育センター
	民間施設体育館
	小学校体育館
旭川バレーボール協会	旭川市総合体育館
	勤労者体育センター
	各種学校体育館
旭川市ラジオ体操連盟	公民館・住民センター等
道北陸上競技協会	花咲スポーツ公園陸上競技場
旭川バウンドテニス協会	旭川市総合体育館
	小学校体育館
旭川ミニバレー協会	小中学校体育館
	民間施設体育館

○その他団体

団体の種類	練習場所
団体事務局	学校体育館
空手	大成体育センター
	中学校体育館
	公民館・住民センター等
	民間施設体育館
ソフトバレーボール	大成体育センター
バレーボール	小中学校体育館
	市外体育館
パワーリフティング	旭川市総合体育館トレーニング室
テニス	花咲スポーツ公園テニスコート
	カムイの杜公園テニスコート
	旭川市総合体育館
	大成体育センター
	民間施設体育館
ミニバレーボール	小中学校体育館
合気道	旭川市総合体育館
	中学校体育館
少林寺拳法	公民館・住民センター等
卓球	旭川市総合体育館
	大成体育センター
	忠和公園体育館
フォークダンス	公民館・住民センター等
	東地区体育センター
健康ダンス	公民館・住民センター等
ラグビーフットボール	河川敷グラウンド
	花咲スポーツ公園球技場
	小学校体育館

②主な大会の開催場所

過去３年間に開催した大会の開催場所及び，今年度開催を予定している大会の開催場所と大会のレベルについて記載いただいた。大会の開催場所については，回答の中で屋内施設のみの結果を表示している。

大会の開催場所としては，「旭川市総合体育館」が多くの団体で利用されており，全国大会も開催されている。また，「大雪アリーナ」においても全国大会が開催されている。

○体育協会加盟団体

団体名	大会開催場所	大会のレベル		
		市	全道	全国
旭川アーチェリー協会	旭川市総合体育館		○	
	大成市民センター		○	
旭川レスリング協会	旭川市総合体育館		○	○
旭川弓道会	花咲スポーツ公園誠心館	○	○	
旭川剣道連盟	旭川市総合体育館	○		
	大成市民センター		○	
	大雪アリーナ		○	
	比布町体育館	○		
	東神楽町総合体育館	○		
旭川地区サッカー協会	旭川市総合体育館	○	○	
	大成市民センター	○	○	
	大雪アリーナ			○
	小中学校体育館	○		
	名寄市スポーツセンター		○	
旭川柔道連盟	旭川市総合体育館	○	○	
北海道旭川銃剣道連盟	旭川市総合体育館		○	
	自衛隊体育館	○		
旭川体操協会	旭川市総合体育館	○	○	
旭川卓球協会	旭川市総合体育館	○	○	
	大成市民センター	○		
	忠和公園体育館	○		
	鷹栖町総合体育館		○	
旭川テニス協会	旭川市総合体育館	○	○	
	鷹栖町総合体育館	○		
旭川地区バスケットボール協会	旭川市総合体育館	○	○	○
	大雪アリーナ	○	○	○
	忠和公園体育館	○	○	
	勤労者体育センター	○		
旭川地区バドミントン協会	旭川市総合体育館	○	○	
	忠和公園体育館		○	
旭川地区ハンドボール協会	旭川市総合体育館	○	○	
	鷹栖町総合体育館		○	
旭川バレーボール協会	旭川市総合体育館		○	○
	大雪アリーナ		○	○
	忠和公園体育館	○		
	鷹栖町総合体育館	○		
旭川市ラジオ体操連盟	公民館・住民センター等	○		
旭川バウンドテニス協会	忠和公園体育館		○	
	旭川市総合体育館			○
旭川ミニバレー協会	旭川市総合体育館		○	○
	小学校体育館		○	
	忠和公園体育館		○	

○その他団体

団体の種類	大会開催場所	大会のレベル		
		市	全道	全国
団体事務局	旭川市総合体育館	○	○	
	大雪アリーナ	○		
	忠和公園体育館		○	
空手	旭川市総合体育館		○	
	大成市民センター		○	
	忠和公園体育館		○	
	大成市民センター		○	
ソフトバレーボール	旭川市総合体育館		○	
	大成市民センター	○		
バレーボール	旭川市総合体育館	○	○	
	大雪アリーナ	○	○	
	忠和公園体育館	○		
	B&G海洋センター	○		
チアリーディン	北海道立総合体育館		○	○
	千歳市総合体育館		○	
パワーリフティング	旭川市総合体育館		○	
テニス	旭川市総合体育館	○		
ラージボール卓球	鷹栖町総合体育館		○	
剣道	旭川市総合体育館		○	
	大成市民センター	○		
	比布体育館	○		
	東川Ｂ＆Ｇ体育館	○		
ミニバレーボール	鷹栖町総合体育館	○		
	比布体育館	○		
合気道	旭川市総合体育館		○	
少林寺拳法	東神楽町総合体育館		○	
	比布体育館		○	
	真駒内アイスアリーナ		○	
卓球	旭川市総合体育館	○		
フォークダンス	大成市民センター		○	
	大雪アリーナ		○	
	勤労者体育センター		○	
	公民館・住民センター等	○		
	稚内市総合体育館	○		
健康ダンス	大成市民センター	○		

③既存施設への感想

現在利用している施設について，練習時及び大会開催時に不足や不便を感じていることを回答いただいた。

既存施設への不満としては，「多くの団体が利用するため使用日数が限られる。」「必要な競技面が確保できない」「備品が古い，数が足りない」といった意見が多い。

この他，忠和公園体育館や大成市民センターには，「観客席が無い」「本部席の設置場所が無い」，「控室スペースがとれない，更衣室が狭い」，大雪アリーナには「利用料金が高い」といった意見があった。

◇旭川市総合体育館

体育協会加盟団体	
旭川アーチェリー協会	・夜間練習ができるようになると良い。
旭川レスリング協会	・多数の競技団体で利用しているため，使用日数が限られる。 ・レスリングマットキャンバスを常設にしてほしい。 ・使用料を安価にして欲しい。
旭川地区サッカー協会	・正規のフットサルピッチが1面しか取れず，全道大会のような規模の大会開催が難しい。
旭川柔道連盟	・大会のたびに畳の移動が必要なため，畳の寿命が短くなってしまう。 ・常設の広さでは大会開催は困難で，備品（タイマー・対戦ボード）不足のため連盟のものを使用。
北海道旭川銃剣道連盟	・移動式の雛壇が不足
旭川体操協会	・大半の器具が旧式の為，全道大会での使用不可。運搬費80万円で札幌から借用する。これらの費用負担が痛い ・安全面や技術向上の観点から現行ルールに則った器具で練習したい。
旭川卓球協会	・大会開催に際しては他団体との調整で決定されるため，施設の不足を感じている。
旭川地区バスケットボール協会	・コートが2面なので全国規模の大会開催は厳しい。コートが4面取れるようにして欲しい ・車椅子に配慮を望む。
旭川地区バドミントン協会	・冬季はテニスやフットサルの使用が多く，専用使用できないことが多い。屋外競技の使用を制限してほしい。
旭川地区ハンドボール協会	・コートが２面取れず，会場分散が必要となる ・電光掲示板が使いにくい
旭川バレーボール協会	・正式な大会ではコートを２面しか取れない。
その他団体	
団体事務局	・大会時に観客席不足。 ・入口狭く荷物搬入しづらい。器具庫，売店，食堂狭い。 ・サブアリーナがなく，アップ会場取れない。
ソフトバレー	・他の競技と重なり，希望日確保が困難
団体事務局	・大会日程が重なることが多く，規模によっては開催不可となる。
団体事務局	・アリーナが狭い
団体事務局	・使用日程が他団体と重複すため，調整に苦慮している。 ・競技用具が老朽化しており，調達持込みが必要な場合があるので整備を望む。
チアリーディング	・玄関スペースが狭い
団体事務局	・施設利用の調整時期や担当部署に不満
パワーリフティング	・器具等が一部不足し，整備も物足りない。
卓球	・シャワー施設が不足
テニス	・高齢の為か，照明が暗く感じる ・大会開催時にはコートを４面確保したい
テニス	・冬季は月2回半日ずつを確保しているが，月1回の練習会は抽選で取れないことがある。

（２）大会開催にあたって必要な施設

①競技に必要な「競技面」の数

最も広い面積が必要となるのは，フットサルの全国大会で 6,000 平方メートルとなっている。この他，全国大会の規模では，弓道，卓球，バスケットボール，バドミントン，ハンドボールが 3,000 平方メートルを超える面積となっている。

	市の大会		全道大会		全国大会	
○体育協会加盟団体	面数	面積・広さ	面数	面積・広さ	面数	面積・広さ
旭川レスリング協会	2	18m×18m×2	3	18m×18m×3	8	18m×18m×8
旭川弓道会	3	20m×42m	4	26m×42m	4	26m×42m
旭川剣道連盟	6	1試合場10m×10m	10	1試合場10m×10m		
旭川地区サッカー協会（フットサル）	2	30m～60m×50m	4	60m～100m×50m	4	60m×50m×2
旭川柔道連盟	3	畳１２８枚×3	6	畳１２８枚×6	8	畳１２８枚×8
北海道旭川銃剣道連盟	4	1面10m×10m	6	1面10m×10m	9	1面10m×10m
旭川体操協会		市総合体育館の広さ		バスケットコート3面分		バスケットコート3面分
旭川卓球協会	30		40	45m×65m	50	50m×70m
旭川地区バスケットボール協会	2	1812㎡（旭川総合体育館）	3	2425㎡（小樽市総合体育館）	4	3886㎡（札幌きたえーる）
旭川地区バドミントン協会	12	45m×65m	16	45m×70m	20	45m×75m
旭川地区ハンドボール協会	2	1面50m×30m，正規コート40m×20m	3		3	
旭川バレーボール協会	6	1面24m×15m	10	1面24m×15m	12	1面24m×15m
旭川市ラジオ体操連盟	1	30m×50m				
旭川バウンドテニス協会						市総合体育館全面
旭川ミニバレー協会	8	1面9m×6m	8		12	
○その他団体						
団体事務局			3	バレーコート	4	バレーコート
空手			5	1面10m×10m		
ソフトバレーボール	8	バドミントンコート	12	バドミントンコート	12	バドミントンコート
バレーボール	4	1面9m×18m	8	1面9m×18m		
柔道	3	1面約14.55m×14.55m	6	1面約14.55m×14.55m	8	1面約14.55m×14.55m
チアリーディン			1	12m×12m		
パワーリフティング			1	市総合体育館で十分		
ラージボール卓球			32	1面10m×5m以上の広さ		
剣道	2	9～11m正方形×2	4	9～11m正方形×4	4	9～11m正方形×4
ミニバレーボール	8	バドミントンコート				
合気道	1		2			
少林寺拳法	4	1面7m×7m	16	1面7m×7m		
卓球	3					
フォークダンス		30m×20m		80m×60m		
健康ダンス		大成市民センターでは狭い				

※その他団体では，１種目に複数の団体から回答があった場合は，最大の数としている。

②競技に必要な「備品」の数

ほとんどの団体において，相当数のイスとテーブルが必要との回答となっている。この他，「電光掲示板」，「タイマー」「記録用ビデオ」といった電子機器の備品も求められている。

○体育協会加盟団体

	市の大会			全道大会			全国大会		
	テーブル	イス	その他	テーブル	イス	その他	テーブル	イス	その他
旭川レスリング協会	20	60	電光掲示板*2	50	200	電光掲示板*3	150	400	電光掲示板*8
			判定用テレビビデオ*2			判定用テレビビデオ*2			判定用テレビビデオ*2
旭川弓道会	10	60	放送設備	15	80	放送設備	15	80	放送設備
			安土幕			安土幕			安土幕
			掲示板			掲示板			掲示板
			記録用ビデオモニター			記録用ビデオモニター			記録用ビデオモニター
旭川剣道連盟	20	80		30	120				
旭川地区サッカー協会	6	100	フットサルゴール	12	150	フットサルゴール	12	150	フットサルゴール
			デジタルタイマー			デジタルタイマー			デジタルタイマー
			放送設備			放送設備			放送設備
			救護用品			救護用品			救護用品
旭川柔道連盟			対戦ボード,タイマー*3			対戦ボード,タイマー*6			対戦ボード,タイマー*8
北海道旭川銃剣道連盟	30	100		65	200	プラカード	80	250	プラカード
						掲示板			掲示板
						雛壇			雛壇
旭川体操協会	30	40		50	120		70	200	
旭川卓球協会				10			20		
旭川地区バスケットボール協会	30	200	タイマー	40	500	電光掲示板	50	800	電光掲示板
						ステージ台			ステージ台
						タイマー			タイマー
旭川地区バドミントン協会	10	100		15	200		25	300	
旭川地区ハンドボール協会	4	70		6	80				
旭川バレーボール協会									
旭川市ラジオ体操連盟	10	100	ワイヤレスマイク						
旭川バウンドテニス協会							5	30	
旭川ミニバレー協会	8	12		8	12		8	12	

○その他団体

	市の大会			全道大会			全国大会		
	テーブル	イス	その他	テーブル	イス	その他	テーブル	イス	その他
団体事務局				10	70	拡声装置	10	100	
						立て看板			
						掲示板			
空手				30	100	ジョイントマット			
						パーテーション			
ソフトバレーボール	8	24	審判台＊8	20	40	審判台*12	40	60	審判台*12
バレーボール	20	50	放送設備	30	80				
			アンテナ						
			ポールカバー						
			白帯						
柔道	20	60		40	150		70	350	
チアリーディン			チアリーディングマット						
パワーリフティング				10	200	スクリーン			
ラージボール卓球				30	80	審判席用マット			
						タオル入れ			
						ストップウォッチ			
剣道	7	40		11	70		11	70	
ミニバレーボール	4	8	バドミントン用ポール						
			ネット						
			審判台						
合気道				10	30	マイク			
少林寺拳法	10	30	放送設備	20	200	放送設備			
卓球	3	30	卓球台、マイク						
フォークダンス	4	10			20	演台10m*5m			
						移動式黒板			
健康ダンス		500							

※その他団体では，１種目に複数の団体から回答があった場合は，最大の数としている。

（３）複合体育施設に希望する施設

専用利用時と大会利用時において希望する施設を伺った。なお，更衣室，シャワー，トイレは除いている。

専用利用時には，会議室，控え室，靴入れの回答が多い。その他では「エレベーター」「ランニングデッキ」があげられている。

大会利用時には，最も多いのは「控え室」であり，次いで「会議室」となっている。「レストコーナー（休憩スペース）」も多くあげられており，大会時には広い面積を求められている。また，周辺に飲食店が無いとの理由から「食堂」を望む声もあった。その他は，「エレベーター」「ランニングデッキ」の他「自動販売機」「売店」などである。

○専用利用時

	会議室	控え室	レストコーナー	食堂	キッズルーム	ロッカー（更衣室以外）	靴入れ	その他
体育協会加盟団体	5	3	3	2	3	2	5	2
その他団体	8	5	3	3	0	3	3	0
合計	13	8	6	5	3	5	8	2

○大会利用時

	会議室	控え室	レストコーナー	食堂	キッズルーム	ロッカー（更衣室以外）	靴入れ	その他
体育協会加盟団体	13	13	12	12	9	6	10	2
その他団体	18	20	16	13	4	12	14	3
合計	31	33	28	25	13	18	24	5

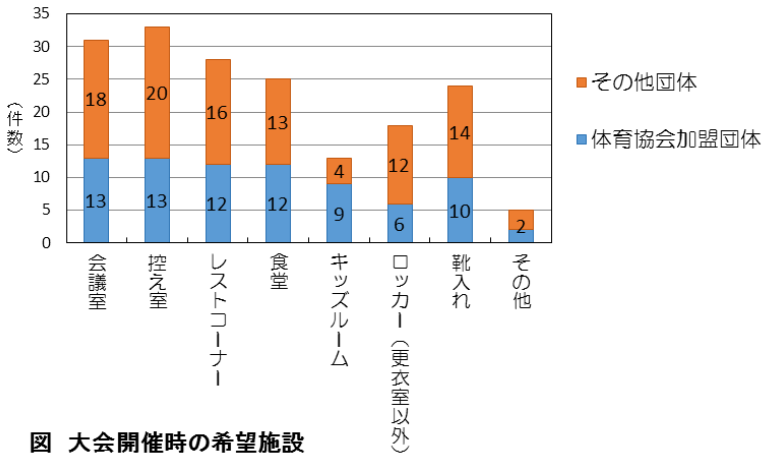


図　大会開催時の希望施設

また，それぞれの施設について，「会議室」は，広さ１２０～１８０㎡，収容人数２０～１００人との意見やコピー機等の常設の意見もあった。「控え室」についても広さ７０～８０㎡や数についての意見があった。

（４）新しいスポーツ施設に対しての意見

体育協会加盟団体	意見
旭川レスリング協会	当協会では五輪事前合宿の誘致に全力をあげており，良好な感触を得ている。 全日本や国際大会の開催要望も来ている。 複合体育施設建設を楽しみにしている。
旭川弓道会	１．道場は全天候型にしてほしい。 ２．屋外に遠的場を設けてほしい。 ３．１階以外に道場を設ける場合はエレベーターを付けてほしい。 ４．バリアフリーにしてほしい。 ５．全道大会が開催できる規模にしてほしい。
旭川剣道連盟	武道館単独での建設が望ましいと考えているが，現状では厳しいと思う。複合施設となった場合，市の大会で使用できる広さ，それが困難な場合は，せめて日常の稽古や審査会などが開ける3会場が確保できる広さがほしいと考える。
旭川地区サッカー協会	・できるだけ多目的に使用できる施設にしていただきたい。 ・体育館のコートの外側ラインと壁との間に余裕がほしい。 ・大会運営時には，競技役員，審判等の控室がコート側にあると便利である。 ・壊れる恐れのあるものについて，使用のたびに保護しなくてもよいよう設備をしっかりしてほしい。 ・十分な広さのサブアリーナがあれば，大規模大会や複数競技の開催にも対応でき，利用できる団体が増えると思われる。 ・トレーニングルームや機器の充実，400m以上のランニングデッキが必要と思う。
旭川柔道連盟	武道館と体育館を完全分離することにより，常設の施設で大会が行えることを武道関係者は望んでいる。 現在は大会開催の要請があっても，受けられない状況。
旭川体操協会	体操（体操競技，新体操）は，大会の使用回数は他競技に比べて少なく，迷惑な存在となるが，毎年市内の中学生，高校生が全国大会に出場している地区でもある。頑張っている子ども達のためにも新しい施設と全道，全国大会が開催できる器具の購入が会員全員の願いである。管理する器具を含めると億を超える予算が必要となるが，北海道第二の都市としての役割を果たしたいと思っている。
旭川卓球協会	基本的には，種目別の施設が望まれるが，他都市の状況を見ても財政的に複合施設が多い。 全国大会では，それぞれの施設（サブ会場）を利用して実施しているので，管理場の面を含めて，早期の建設を期待する。
旭川テニス協会	主催大会が夏季40に対し冬季9と減少している。冬季は練習場所の確保が難しく，練習時間の不足が競技力の低下を招いている。冬季は市立総合体育館等の屋内施設を屋外競技団体と屋内競技団体が競合して使用するため，双方とも練習量が不足してしまう。屋内外の競技団体の競技力向上に寄与するとともに大規模大会の誘致も可能となり，地域経済の活性化にもつながる屋内運動場（アリーナ）の整備を強く希望する。
旭川軟式野球連盟	河川敷グランドよりも，東光スポーツ公園の早期整備をお願いしたい。
旭川ソフトテニス連盟	各スポーツ団体の代表者を集めて，いろいろな意見を聴く機会があればよい。 実際に使用している人の意見をしっかり聞かないでことを進めると，使いずらいものとなる。 テニスコート４面では小規模大会にも使いずらので，せめて6～８面にしてほしい。
旭川地区バスケットボール協会	バスケットボールコート4面を確保して，全国規模の大会を誘致できるようにしてほしい。 車いすの方と健常者がともに使いやすい施設にしてほしい。 観戦席の充実。 世界の公式試合もできるよう，選手出入口と観客出入口を別にしてほしい。
旭川地区バドミントン協会	北海道第二の都市なので函館，釧路以上のスポーツ施設を作ってほしい。 全国大会を開催できる施設となって活力ある旭川となってほしい。
旭川地区ハンドボール協会	新施設では全道大会に対応するため，正規コート（40m×20m，オフィシャル含め50m×30m）が２面取れる広さをお願いしたい。 電光掲示板は移動式もあると便利である。 常磐分館では，ハンドボールの一般開放があった。新施設もしくは総合体育館でのハンドボールの一般開放の再開を希望する。 ハンドボールのゴールを分解せずに収容できる用具庫があるとありがたい。
旭川バレーボール協会	どの競技でも全国大会の開催可能な施設が必要。具体的には札幌市の「きたえーる」レベルの施設。
旭川市ラジオ体操連盟	多種多様なスポーツの種類と各種大会に対応できるように工夫して選手，観客，大会運営者に便利なものとしてほしい。 地元旭川に功績のあった選手，関係者の資料展示室を設け，広く市民に伝わるようにしてはどうか。 多くの市民が満足するものを望む
道北陸上競技協会	今回のアンケートのみならず，定期的にスポーツ団体からの要望をくみ取り，施設の充実をはかってほしい。
旭川ミニバレー協会	バドミントンコートを利用して行う競技である。コート間はバドミントン使用時以上のスペースを作ってほしい。

その他団体	意見
団体事務局１	サブアリーナが必要。観客席，売店，食堂を広くする。 コート数は，バスケット3面，バレー4面，バドミントン20面，卓球36台，観客席最低2000人分，サブアリーナではバスケット1面，バレー2面，バドミントン8面等。 柔道，剣道では6会場必要。
団体事務局２	全国大会も開催できるような広いフロアーと，サブの体育館が併設していること。 観客席が必要。
団体事務局３	大会で複数の会場を使用しなくて済むように，新施設はバスケットボールコート3面が使用できるようにしてほしい。
団体事務局４	一般開放日が多いと大会等で使用しにくいので，可能な限り利用対象日を増やしてほしい。
団体事務局５	障害者スポーツの競技団体を，年間通じて受け入れられる体制を整備してほしい。（球技系種目やスキー活動の設備の整備）
団体事務局６	野球の屋内練習場ができると需要が広がると思う。
団体事務局７	大会に参加する団体ではないが，年4回ほど市内の体育館を利用している。 色々な人が使用できる場として期待している。
ソフトバレーボール	床は木製として，天井は無意味に高くしない。（暖房費節約のため） 第2体育館をつくり，一般開放する。主アリーナも安価で一般解放を希望。 ランニングコースは，建物の外につくって，屋内大会の支障にならないように。 用具は，最新のルールに沿ったものを用意してほしい。 駐車場200台。　公共交通機関が利用できるように。
バレーボール	大きな大会を開催できる規模の施設を作っていただきたい。
柔道	夏場の空調設備を充実してほしい。 大会等によっては，早目に開館してほしい。
空手	一般初心者も参加しやすい施設（武道館）の早期完成を望む。 東京オリンピックで空手が採用となったなら，旭川から出場選手を育てたいと思う。
テニス１	通年使えるインドアコートが必要であり，少なくとも計画されているアウトドアコート４面をインドア化することで普及と発展に寄与できる。 将来を見据えた施設づくりをお願いしたい。
テニス１	総合体育館より明るい照明を望む。 観客席の最上段をランニングなどに利用できる構造になれば良い。
テニス２	旭川市総合体育館の外に2面位のスペースの中体育館があれば良いと思う。 東光スポーツ公園の推進に期待する。
ラージボール卓球	ラージボール卓球は，生涯スポーツとして高齢者を中心に普及したもので，旭川地区でも広まりつつあります。 忠和公園体育館のように卓球台を設置したままで利用できると助かる。
剣道	管内や全道大会が開催できる会場が限られているため，試合場4面と観客が収容できる武道館ができるとありがたい。
合気道	シャワールームは，温水を望む。 武道館には，武の神様を祭る神棚を設置してほしい。（ケガ等しないよう見守っていただきたいとの趣旨）
少林寺拳法	３千人以上の観覧席がほしい。
卓球	既存施設は混雑しており，台の争奪が生じている。新体育館が早期に完成し一般開放されることを望む。
フォークダンス１	常時活用できる施設が近隣に複数必要です。大きな複合体育施設は，どうしても特定の団体の利用に偏るので，一般市民は快適に近くの施設を利用したい。
フォークダンス２	体にやさしい床，音響設備，時計，冷暖房がほしい。
フォークダンス３	駅や中心街から遠い。
健康ダンス	交通が不便なので使用しない。 使用しにくい場所は，無駄なモノになる。
ラグビーフットボール	利用料金を低く抑えて，各団体が多くの大会に利用できるようにしてほしい。 シャワールームの使用料は施設利用料に含まれるようにできないか。 早期の完成を願っている。

東光スポーツ公園複合体育施設の整備内容についての意見交換会　実施結果

１　日時　１日目　平成２８年1月１３日（水）１９：００～２０：４５
　　２日目　平成２８年1月１４日（木）１９：００～２０：３０

２　場所　旭川市障害者福祉センター　２階　会議室１
　　旭川市宮前１条３丁目３番７号

３　出席者　１日目　　１５団体　　１８名
　　（案内団体　主に体育館を利用する団体　５０団体）
　　２日目　　６団体　　８名
　　（案内団体　主に武道館を利用する団体　１３団体）
　　合　計　　２１団体　　２６名

４　意見交換会

１）開会

２）旭川市挨拶　　旭川市土木部公園みどり課長　より挨拶

３）東光スポーツ公園の概要

・説明資料に基づき，市より説明

４）複合体育施設の整備内容について

・説明資料及び参考資料に基づき，市より説明

５）今後の予定について

・現在行っている基本計画の見直しについては，今回の意見交換会の意見を踏まえ素案を作成し，旭川市緑の審議会東光スポーツ公園検討部会において審議いただく。その後来月にはパブリックコメントを実施し，３月には見直しを完了したいと考えている。次年度以降，基本計画に基づき建物の構造や施設の配置を検討する基本設計を行い，整備を行うこととなるが，複合体育施設は規模が大きく，費用が大きくなることから，財源確保が大きな課題であり，段階的な整備も視野に整備を進める方法を検討する。整備時期については，具体的になり次第改めて御案内させていただきたい。

６）意見交換

（主な意見交換内容は次項）

７）閉会

・今後も御意見があれば，公園みどり課までお知らせ願いたい。

・整備に向けて今後も情報提供させていただくとともに，御意見をお聞きすることがあるかと思うので，御協力をお願いしたい。

５　主な意見交換内容

１）１日目（主に体育館利用団体が出席）

〇体育館，小体育館の面積について

・体育館の面積で，提案されている面積が６３ｍ×４４ｍ（２，７７２㎡）であるが，道内第２の都市として，他の都市に劣るのはどうか。大会開催時に２会場に分かれると，会場間の移動や役員の数を増やさなければならず，体育館を広くして，一会場で大会が開催できるようにして欲しい。

・バスケットボールのコートが３面とれるようになっているが，体育館の壁と２ｍしか離れていない。２ｍ以上離れた位置に大会時はベンチ等を置くため，この大きさでは狭いが，規模の変更は可能か。

・テニスコートを体育館で４面，小体育館で１面とれれば大会開催が可能である。

・小体育館の面積を大きくできれば，２つの大会を同時にできる。小体育館側にもシャワー室が想定されているが，必要無いのでは。この分を減らしてフロアーを増やすことを考えてはどうか。

→（市回答）体育館の面積は大きい方が望ましいことは理解できるが，国からの交付金を利用した整備を考えていることもあり，基準に基づき規模を決める必要がある。事前に各団体からいただいた情報やこちらで確認した競技規則などをもとに規模を想定しているが，具体的な基準等の情報を提供していただければ変更を検討したい。

〇体育館の高さについて

・計画では１２．５ｍとなっているが，総合体育館や大雪アリーナとの比較は。

→（市回答）総合体育館との比較はしていないが，各競技規則を確認した中で，バレーボールの１２．５ｍが最も高かったことから設定している。（後日確認したところ，総合体育館は最高部高さが１５．８ｍ，大雪アリーナは２１ｍとなっている。）

〇備品，備品庫について

・他都市では，競技団体から寄付を受けて設備をそろえたと聞いている。市から要望があるのであれば，協力できると思う。

・体操の器具を全て収納するには200～250㎡の器具庫が必要。また，体操器具は金額も高く，現在は大会時に他から借りることになるが，運搬費が捻出できず大会開催も厳しいのが現状。

・備品庫について，建物の中でなく，外に設置すればその分体育館を大きくできるのではないか。

→（市回答）今後の設計の参考とさせていただく。

〇トレーニング室について

・ジム的な利用だけで無く，世界に通用するような選手の育成も考えてほしい。総合体育館は狭く器具が不足している。扉を工夫し中を見えるようにすることで，競技に関心を持ってもらい，また，引き戸にすることで，部屋の有効利用が図れる。

→（市回答）具体的な設計をする時に参考とさせていただきたい。他施設との役割分担も考えていかなくてはならない。

○整備スケジュールについて

・整備スケジュールについて確認したい。

→（市回答）今年３月を目標に基本計画を見直し，次年度以降に建築の構造や配置を検討する基本設計を行う予定。その基本設計の中で建設のスケジュールについても整理していく。施設の全てが一度に整備ができれば良いが，複合体育施設は規模が大きく，財源確保が課題であり，段階的な整備も視野に整備を進める方法を検討する。また，市では総合庁舎や空港の整備など他事業との調整もあり，市全体の施設の計画の中で想定していくこととなる。

○その他

・体育館にラインを引く際には，協議して欲しい。

・利用時間の柔軟な対応をしてほしい。他都市では，利用時間の前倒しや延長もされている。

→（市回答）御意見をお受けしたので協議，検討させていただく。

２）２日目（主に武道館利用団体が出席）

○武道館の利用者について

・武道関係者が使うことを望んでいるが，他の団体にも利用させるのか。

・函館アリーナは武道団体のみの使用と聞いている。

→（市回答）利用調整の中で考えなければならないと思う。武道が優先になると思うが空いている時間の有効利用も考える必要がある。ここで決めることはできないが今後，運用については協議，検討させていただきたい。

○武道館の床について

・武道館は，種目別の部屋があるかと思っていたが（計画では１室）。武道館の床は，畳になるのか。板になるのか。

・床に滑り止めのワックスをかけると，空手では怪我をすることがある。

・すり足で移動するので，滑り安く，かつ滑りにくい床にしてほしい。

→（市回答）総合体育館でも，利用の際に畳を敷いて利用してもらっている場所もある。当初は個別としていたが，大会が開催できるよう，また，多目的利用も考えて計画している。床材の検討は今後となるが，こちらも分からないことがあるので，設計時に意見をお聞きしたい。

○武道館の配置について

・（イメージ図から）弓道は静寂な中で行うものであるため，上部に小体育館が有るのは音や振動が心配である。２階にある方が良いが，高齢の方も増えているので，エレベーターの設

置が必要。

→（市回答）配置については，今後検討していく。

〇整備時期について

・スケジュールはどうか。

→（市回答）一日でも早くとの思いはあるかと思うが，現在は具体的なものは示せない。

〇駐車場について

・駐車場のスペースが少ないように感じる。大会利用となるとバス利用を進めることとなるが路線バスを公園内に引き込む考えはあるのか。

→（市回答）現段階で路線バスを引き込むことを想定していないが，南側駐車場内でバスの回転スペースはとれるので，バス会社との協議等により園内に入れることは可能と考えている。駐車場については，国の交付金を利用しているため，基準に合わせた整備が必要となるため，計画から大きく変えることはできない。

〇その他

・パブリックコメントをするとのことだが，周知はどうするのか。

→（市回答）広報紙やホームページでの周知であるが，アンケートを送付させていただいた団体には，郵送したいと考えている。

・防災公園ということだが，大型車両が進入できるようになっているのか。

→（市回答）防災については，車両の通行を考慮した園路となっており，中央広場を防災用に使うことも想定している。

・武道館にラインを引く際には，協議してほしい。

→（市回答）御意見をお受けしたので協議させていただく。

東光スポーツ公園基本計画見直しの経過

〇平成１１年度　運動公園基本計画策定，運動公園基本設計の実施

・本市のスポーツ振興や公園緑地の適正配置，防災意識の高まり等に対応するため，新しい運動公園を整備することを目的とし計画を策定

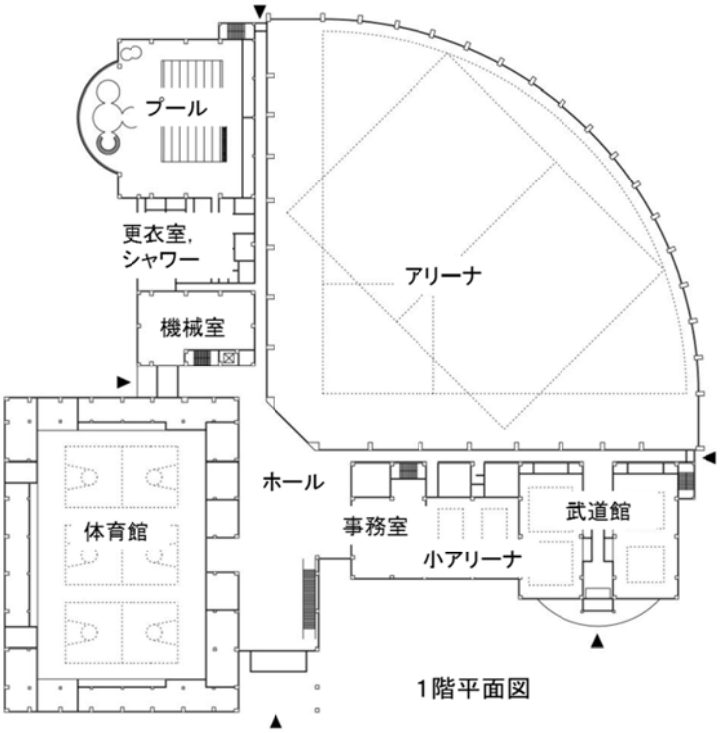
・総事業費　約２５０億円

施　設	施設概要
軟式野球場	メイン野球場（1面） サブ野球場（3面）
球技場	メイン球技場（1面） サブ球技場（1面）
複合体育施設	体育館，アリーナ， 武道館，プール
テニスコート	硬式用コート（8面うち屋内2） 軟式用コート（8面うち屋内2）
パークゴルフ場	3コース（27ホール）

・複合体育施設の計画内容（平成１１年度　基本設計より）

複合体育施設の建設費　　約１０８億円

施設	整備する施設及びグレード
体育館	・フロア面積　約2，600㎡
	（バレー3面，バスケット3面，バトミントン14面，卓球30面）
	・観客席　約2，000席
武道室（3室）	・剣道場（2面）
	・柔道場（2面）
	・銃剣道空手道場（1面）
	・弓道場（7人立ち）
プール	・25m×7コース
アリーナ	・人工芝　約9，500㎡
その他	・小アリーナ　約500㎡（バトミントン）
	・ライフル射撃場
	・トレーニング室



○平成２１年度　東光スポーツ公園基本計画（改定版）　策定

・後期１０年の整備期間に入るにあたり，市民ニーズや社会情勢の変化及び，市の財政状況に対応した整備となるよう見直しを実施

・総事業費　約１８２億円（約６８億円縮減）

施　設	施設概要
軟式野球場	メイン野球場（1面） サブ野球場（2面）
球技場	メイン球技場（1面） サブ球技場（1面）
複合体育施設	体育館，武道館 「アリーナ，プール凍結」
テニスコート	硬式，軟式供用コート（4面）
パークゴルフ場	4コース（36ホール）

※複合体育施設については，整備の優先順位を整理。
整備内容の見直しは行っていない。

◇見直しの考え方

施　設	当初計画 施設概要	改定後 施設概要	個別施設の見直しの考え方
軟式野球場	メイン野球場（１面） サブ野球場（３面） ”事業費２７億円”	メイン野球場（１面） サブ野球場（２面） 「サブ１面削減」 ”事業費１８億円”	当初全国大会の実施を目指していたが，実績が多く開催頻度が高い全道規模の大会に照準を合わせ，施設規模を見直す。
球技場	メイン球技場（１面） サブ球技場（１面） ”事業費１６億円”	メイン球技場（１面） サブ球技場（１面） 「観客席等の簡素化」 ”事業費５．９億円”	各種大会の開催ニーズが高まっており，市内全体で良好な利用環境を確保しながら対応するために，当初計画どおり２面を新設。観客席などを簡素化し費用を縮減する。
複合体育施設	体育館，アリーナ， 武道館（３室），プール ”事業費１０８億円”	体育館，武道館 「アリーナ，プール凍結」 ”事業費７１億円”	既存屋内スポーツ施設の不足を解消するため，体育館，武道館を整備する。アリーナ，プールについては，建設を凍結するが，財政状況により再検討する。
テニスコート	硬式用コート（８面うち屋内２） 軟式用コート（８面うち屋内２） ”事業費１２億円”	硬式，軟式供用コート（４面） 「屋内４面，屋外８面削減」 ”事業費２．２億円”	当初大会開催を計画していたが，花咲スポーツ公園テニスコートの改修により各種大会が花咲で開催可能となったため，一般利用を目的とし，テニスコートの面数を削減する。
パークゴルフ場	３コース（２７ホール） ”事業費１．２億円”	４コース（３６ホール） 「９ホール増設」 ”事業費１．６億円”	パークゴルフ人口が伸びており，競技志向も高まっている。大会開催が可能な規模の整備により将来的にも利用者の確保をする。
その他	用地取得，各種広場，駐車場，トイレ，園路等 ”事業費８５．８億円”	同左 ”事業費８２．９億円”	ジョギングや軽スポーツ，散策など自由に利用できる空間を充実させる。

○平成２８年　３月　　東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）の見直し

・複合体育施設の整備検討にあたり，約１５年という時間の経過による市民ニーズやスポーツ実施環境の変化，競技ルールの変更等に対応するために基本計画の見直を実施

・概算工事費　約８０億円（平成２１年見直し時　事業費　約７１億円）

	室　名　等	平成11年度基本計画	平成27年度基本計画
体育館	体育館	床面積　約2,600㎡（62m×42m） （バレー3面，バスケット3面，バドミントン14面，卓球30面）	床面積　約2,８６０㎡（65m×44m） 天井高12.5m以上 【比較施設：総合体育館メインアリーナ1,812㎡の約1.5倍】
		最高収容観客席　約4,400席 （内移動席(1Ｆ)　約2,400席，バレー1面使用の場合）	2階観客席(約2,000席）+移動席，仮設席で5,000席を確保
	更衣室・シャワー室・トイレ	トイレは男性用，女性用，身障者用を計画 更衣室・シャワー室は全館共通施設として計画	男性用，女性用それぞれに身障者用を設置
	選手控室	設置	同規模施設（約150㎡）を参考とし 2～3室に分割できるよう計画
	審判室，役員室，放送室等	役員控室，休憩コーナーを設置	同規模施設を参考として設置
	下足室	－	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	器具庫（730㎡）	同規模施設を参考として計画
	ランニング走路	（ランニング走路はアリーナに計画）	延長約250m，２人がすれ違える幅
小体育館	小体育館	バドミントン（2面）　約500㎡	床面積　約950㎡（38m×25m）天井高12.5m以上 【比較施設：大成市民センター体育館1,051㎡より若干狭い】 観客席約200席を確保
	更衣室・トイレ	－	男性，女性を個別に設置し，身障者利用も想定
	下足室	－	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	－	同規模施設を参考として計画
武道館	武道館	剣道場（2面）　約600㎡ 柔道場（2面）　約600㎡ 銃剣道空手道場（1面）　約300㎡ 弓道場（7人立）　約600㎡ 合計　約2,100㎡	床面積　約1,100㎡（44m×25m） 3室に分割できるよう計画 【比較施設：大成市民センター体育館1,051㎡と同程度】
	更衣室・シャワー室・トイレ	更衣室を計画（トイレは管理部門と供用）	男性，女性を個別に設置し，身障者利用も想定
	的場	弓道場内に計画	同規模施設を参考として計画
	控室	控室	同規模施設を参考として計画
	下足室	－	出入口で靴の履き替えを想定
	器具庫	器具庫，ホール	同規模施設を参考として計画
管理部門	管理事務所，医務室，警備室等	管理事務室　約500㎡	総合体育館及び同規模施設を参考にして計画
	幼児室	幼児室　約100㎡	総合体育館（84㎡）を参考にして計画
	レストコーナー・売店	レストコーナー・売店　約200㎡	約200㎡
	男子・女子・多目的トイレ	個別に計画	同規模施設を参考として個別に計画
	会議室・研修室	研修室（150人，350㎡），会議室あわせて約800㎡	それぞれ150人程度の収容を想定 ２室に分割を計画
	トレーニング室	トレーニング室　約485㎡	総合体育館（341㎡）を参考として計画
	備蓄倉庫	約250㎡	計画
	ホール	計画	計画
	その他	エアーライフル　約320㎡	－
プール	プール	２５ｍ　７コース	建　設　凍　結
		アクアゾーン	
	更衣室・洗面シャワー室・トイレ	設置	
	採暖室	設置	
	監視室	設置	
	器具庫	設置	
	観覧スペース	約200席	
アリーナ	アリーナ	人工芝　約9,500㎡ （少年野球１面，ミニサッカー場１面，ゲートボール６面）	建　設　凍　結
	フリークライミング	設置	
	ランニングコース	外周約３４０ｍ	
	観客スペース	設置	

見直しの検討経過等

〇見直しの検討経過

平成２７年　９月～	・旭川市の新たな屋内スポーツ施設の整備に向けた市民アンケート　実施 ・旭川市におけるスポーツに関する団体アンケート　実施
平成２７年１１月	・旭川市緑の審議会へ「東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）の見直しについて」諮問 ・旭川市緑の審議会に「東光スポーツ公園検討部会」を設置 ・第１回旭川市緑の審議会東光スポーツ公園検討部会　開催
平成２７年１２月	・第２回旭川市緑の審議会東光スポーツ公園検討部会　開催
平成２８年　１月	・東光スポーツ公園複合体育施設の整備内容についての意見交換会　開催
平成２８年　２月	・第３回旭川市緑の審議会東光スポーツ公園検討部会　開催 ・東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）の見直し案に対する意見提出手続　実施
平成２８年　３月	・第４回旭川市緑の審議会東光スポーツ公園検討部会　開催 ・第６回旭川市緑の審議会　開催 「東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）の見直し」について答申
平成２８年　４月	・「東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）」としてとりまとめ見直しを完了

○旭川市緑の審議会等

［諮問文］

旭　公　み　３３６　号

平成２７年１１月１０日

旭川市緑の審議会

会長　江口　尚史　様

旭川市長　西　川　将　人

東光スポーツ公園複合体育施設について（諮問）

東光スポーツ公園基本計画の複合体育施設に関する見直しについて，貴審議会の意見を求めます。

［答申文］

平成２８年3月３１日

旭川市長　西　川　将　人　様

旭川市緑の審議会
会長　江　口　尚　文

東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）について（答申）

平成２７年１１月１０日付け旭公み第３３６号で本審議会に諮問された東光スポーツ公園複合体育施設に関する見直しについて，臨時委員を任命し，検討部会を設置し慎重に審議を重ねてきました。その結果を別紙の「東光スポーツ公園基本計画（複合体育施設）（案）」として取りまとめ，答申します。

なお，答申に当たり，次の意見がありましたので申し添えます。

・市民やスポーツ団体より建物の具体的な設計や施設の運営に係わる意見が多数あったことから，今後の事業推進に当たっては，こうした市民やスポーツ団体等からの意見聴取及び意見反映に十分配慮すること。

・複合体育施設の完成には大変多くの期待が寄せられていることから，早期の整備を目指すこと。

［旭川市緑の審議会委員名簿］

（五十音順　敬称略）

委員名	所属等	会長・副会長・部会等
安藤　秀俊	北海道教育大学旭川校　教育学部　理科教育教室　教授	副会長 東光スポーツ公園検討部会長
安倍　あずさ	旭川市PTA連合会　副会長	東光スポーツ公園検討部会委員
石坂　辰義	旭川市市民委員会連絡協議会　会長	東光スポーツ公園検討部会委員
江口　尚文	旭川大学　経済学部　経営経済学科　教授	会長
海老子川　雄介	（一社）旭川青年会議所　副理事長	
遠藤　國雄	（一社）旭川観光コンベンション協会　専務理事	東光スポーツ公園検討部会委員
太田　真理	旭川市総合体育館利用団体　会長	臨時委員 東光スポーツ公園検討部会委員
大矢　二郎	東海大学名誉教授	臨時委員 東光スポーツ公園検討部会委員
片岡　工	旭川市体育協会　副会長	臨時委員 東光スポーツ公園検討部会委員
今野　義信	公募市民	
齊藤　正明	NPO法人　緑の探検隊　理事長	
酒井　健一	公募市民	
中島　啓一	（公社）北海道宅地建物取引業協会旭川支部　副支部長	
成田　一芳	旭川みどり21の会　会長	
村上　昭子	旭川市スポーツ推進委員会　委員	臨時委員 東光スポーツ公園検討部会委員

［緑の審議会条例］

○旭川市緑の審議会条例（平成27年7月3日条例第57号）

平成27年７月３日
条例第57号

（設置）
第１条　本市の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本的な計画その他重要な事項について調査審議するため，旭川市緑の審議会（以下「審議会」という。）を置く。
（組織）
第２条　審議会は，次に掲げる者のうちから，市長が委嘱する委員15人以内をもって組織する。
（１）　学識経験者
（２）　市長が適当と認めた者
（３）　市内に居住し，又は通勤し，若しくは通学する者であって，市長が行う公募に応じたもの
２　特別の事項を調査審議させるため必要があるときは，審議会に臨時委員を置くことができる。
（委員）
第３条　委員の任期は，２年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。
２　委員は，再任されることができる。
３　臨時委員は，その者の委嘱に係る特別の事項に関する調査審議が終了したときは，委嘱を解かれるものとする。
（会長及び副会長）
第４条　審議会に会長及び副会長１人を置き，委員の互選によりこれを定める。
２　会長は，会務を総理し，審議会を代表する。
３　副会長は，会長を補佐し，会長に事故があるときは，その職務を代理する。
（会議）
第５条　審議会の会議は，会長が招集する。
２　審議会は，委員の過半数が出席しなければ，会議を開くことができない。
３　審議会の議事は，出席した委員の過半数で決し，可否同数のときは，会長の決するところによる。
４　臨時委員は，その者の委嘱に係る特別の事項について会議を開き，議決を行う場合には，前２項の規定の適用については，委員とみなす。
（部会）
第６条　審議会は，必要があるときは，部会を置くことができる。
２　部会は，委員及び臨時委員のうちから会長が指名する者をもって組織する。
３　部会に部会長を置き，その部会に属する委員及び臨時委員の互選によりこれを定める。
４　部会長は，部会の会務を掌理する。
５　前条の規定は，部会の会議について準用する。この場合において，同条中「審議会」とあるのは「部会」と，「会長」とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。
（庶務）
第７条　審議会の庶務は，土木部において処理する。
（委任）
第８条　この条例に定めるもののほか，審議会の運営に関し必要な事項は，会長が審議会に諮って定める。

附　則

１　この条例は，公布の日から施行する。
２　この条例の施行後最初に委嘱される委員の任期は，第３条第１項の規定にかかわらず，平成28年３月31日までとする。